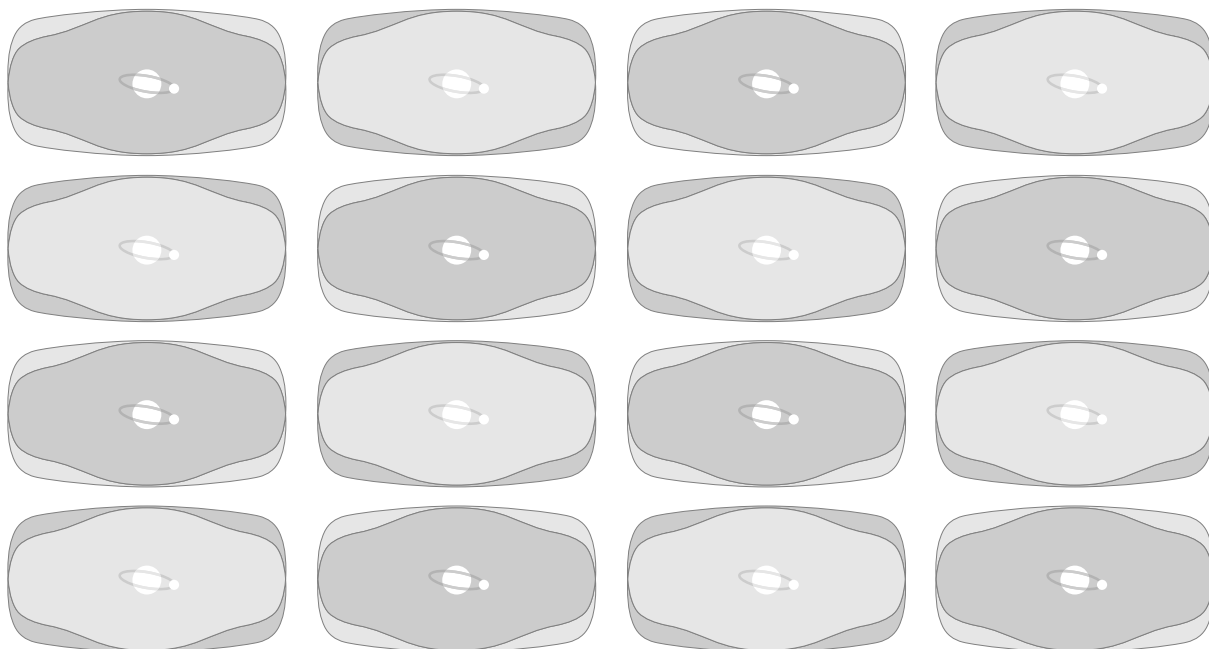
Canon

imagePROGRAF
W2200S

ネットワークガイド

ご使用前に必ずこのネットワークガイドをお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

マニュアルの構成について

W2200S を安全で快適にお使いいただくために、次のマニュアルを用意しています。必要に応じてマニュアルをお読みになり、W2200S の性能を十分にご活用ください。

パッケージを開いたら

▼

同梱品の確認 ⇒

▼

プリンタのセットアップ ⇒

▼

ソフトウェアのインストール ⇒

▼

動作状態の確認 ⇒

セットアップガイド

⇐ オプションのセットアップ

▼

ネットワークの設定 ⇒

ネットワークガイド（本書）

基本的な使いかた ⇒

印刷のしかた ⇒

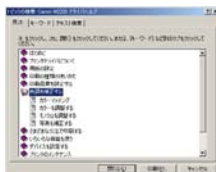
操作パネルの使いかた ⇒

ユーザーズガイド

⇐ メンテナンスのしかた

⇐ 困ったときの対処のしかた

⇐ オプションや消耗品の紹介

プリンタドライバの詳細 ⇒

オンラインヘルプ

※ Windows の場合は、プリンタドライバの［ヘルプ］ボタンを押すと表示されます。
※ Macintosh では、付属の User Software CD-ROM のヘルプファイル（pdf）を開くと表示されます。

ネットワークガイドの構成について

第 1 章　お使いになる前に
必要なネットワーク環境や OS など、使い始める前に必要な知識について説明しています。

第 2 章　TCP/IP ネットワークの設定（Windows）
TCP/IP ネットワークで使用するための設定方法について説明しています。

第 3 章　AppleTalk ネットワークの設定（Macintosh）
Apple Taik ネットワークで使用するための設定方法について説明しています。

第 4 章　NetWare ネットワークの設定（Windows）
NetWare ネットワークで使用するための設定方法について説明しています。

第 5 章　NetBIOS/NetBEUI ネットワークの設定（Windows Me/Windows 98）
NetBIOS/NetBEUI ネットワークで使用するための設定方法について説明しています。

第 6 章　困ったときは
困ったときの原因の見つけかたや処置のしかたについて、説明しています。

第 7 章　付録
ネットワーク設定の初期化方法や項目一覧などを説明しています。

本書の表記について

マークについて

本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のような見出しとマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警告

- **取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。**

注意

- **取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**

お願い

- 操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

- 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

キー・ボタンの表記について

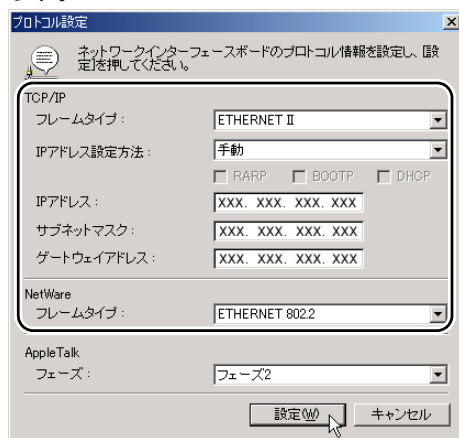
本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- プリンタ上のキー：［オンライン］
- コンピュータ画面上のボタン：［設定］
- コンピュータ画面上のアイコン：(印刷)

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

設定する項目は、下記の例のように ◯（丸）で囲んで表しています。また、設定項目が複数ある場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせ選択してください。

3 ［NetWare］の［フレームタイプ］でご使用のフレームタイプを選択します。また［TCP/IP フレームタイプ］で［ETHERNET II］を選択して［IP アドレス］に本プリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、［設定］ボタンを押します。

略語について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版を Windows Me と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 日本語版を Windows 98 と表記しています。

Microsoft® Windows® XP 日本語版を Windows XP と表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® 日本語版を Windows NT と表記しています。

Microsoft® Windows® Server 2003 日本語版を Windows Server 2003 と表記しています。

Microsoft® Windows® を Windows と表記しています。

プリンタドライバに表記されている GARO は、Graphic Arts Language with Raster Operations の略称です。GARO は、ラスタイメージデータを作成するためのプリンタ言語のことです。

商標について

Canon、Canon ロゴ、FontGallery、FontComposer、imagePROGRAF は、キヤノン株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows NT®、MS-DOS® は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

IBM は、米国 IBM Corporation の商標です。

HP は、ヒューレット・パッカード株式会社の商標です。

NetWare、Novell は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。NDS、NDPS、NLM、Novell Client は、米国 Novell, Inc. の商標です。

LASER5 は、レーザーファイブ株式会社の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

Sun、Sun Microsystems、SunOS は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国および他の国における商標です。

Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Unix は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の商標です。

TurboLinux は、TurboLinux, Inc. の商標です。

Netscape, Netscape Communicator, Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。

Red Hat は、米国 Red Hat Software の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

カラープリンタの使用に関する法律について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律：　刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条
等

目次

第 6 章　困ったときは

第 7 章　付録

1 お使いになる前に

対応しているネットワーク環境やお使いのネットワーク環境の確認などお使いになる前に知っていただきたいことについて記載しています。

必要なシステム環境について

本ネットワークインタフェースボードが対応しているシステム環境について説明します。

印刷するときに必要なシステム環境

使用するネットワークに応じて以下のシステム環境が必要です。

■TCP/IP ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - Windows Me/Windows 98
  - Windows NT 4.0 日本語版
  - Windows 2000 日本語版
  - Windows Server 2003 日本語版
  - Windows XP 日本語版
  - 日本語 Solaris Version 1.1.x（SunOS Version 4.1.x）以降
  - 日本語 Solaris Version 2.5.x（SunOS Version 5.5.x）以降
  - HP-UX Version 10.x 以降
  - IBM-AIX Version 4.x 以降
  - 日本語 Red Hat Linux 5.2 以降
  - LASER5 Linux 6.0 以降
  - Turbo Linux 日本語版 3.0 以降
- 対応しているコンピュータ
  - IBM PC 機 / その互換機、PC-98 シリーズ

メモ

- Windows NT 4.0 をお使いの場合は、Service Pack 6 以降をインストールしてください。

■NetWare ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応しているサーバ
  - Novell NetWare Version 4.20J/5.1J
- 対応しているクライアント
  - Windows Me/Windows 98 日本語版
  - Windows XP Professional 日本語版
  - Windows 2000 Server 日本語版
  - Windows 2000 Professional 日本語版
  - Windows NT Server 4.0 日本語版
  - Windows NT Workstation 4.0 日本語版
  - Windows Server 2003 日本語版

- 対応しているコンピュータ
  - IBM PC 機 / その互換機、PC-98 シリーズ

■NetBIOS ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - Windows Me/Windows 98 日本語版
- 対応しているコンピュータ
  - IBM PC 機 / その互換機、PC-98 シリーズ
- コンピュータに必要なメモリ
  - 16MB 以上

メモ

- Windows NT 4.0 をお使いの場合は、Service Pack 6 以降をインストールしてください。

■AppleTalk ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応しているコンピュータ
  - Power PC プロセッサを搭載した Macintosh シリーズ
- 対応している OS
  - Mac OS 8.6 以降
  - Mac OS X 10.1 以降
- 対応している AppleTalk
  - フェーズ 2 の EtherTalk
- コンピュータに必要なメモリ
  - Mac OS 8.6 のときは 24MB 以上、Mac OS 9 のときは 32MB 以上

メモ

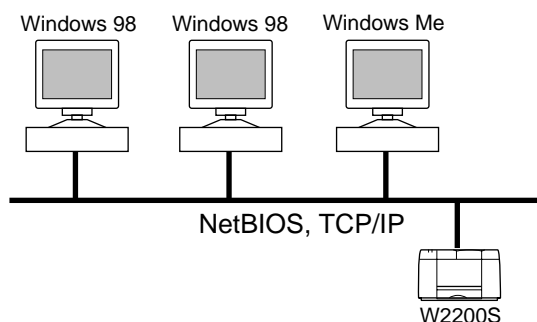
- Macintosh の LocalTalk ネットワークには対応していません。

ネットワーク環境について

以下の図を参考に、プリンタを接続するネットワーク環境の確認をして、必要な作業を行ってください。

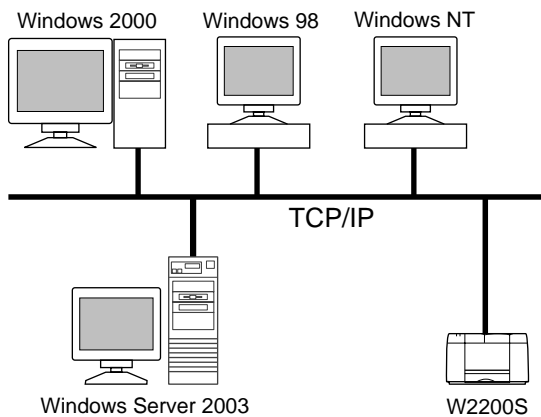
Windows ネットワークの例

■Windows Me/Windows 98 コンピュータ のみの場合

下図のようなネットワーク環境の場合、NetBIOS プロトコルを使うと、簡単な設定だけで印刷できます。また、各 Windows コンピュータに「Canon LPR Port」をインストールすると、TCP/IP プロトコルを使用することもできます。

使用するプロトコルに合わせて、次のページをご覧ください。

- 「第 2 章　TCP/IP ネットワークの設定（Windows）」
- 「第 5 章　NetBIOS/NetBEUI ネットワークの設定（Windows Me/Windows 98）」

■Windows XP/Windows 2000/Windows NT/Windows Server 2003コンピュータがある場合

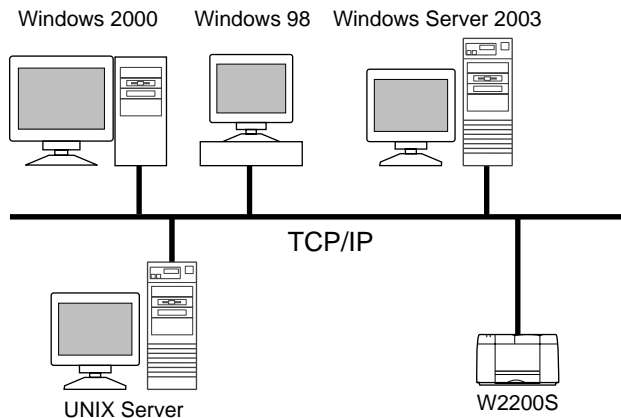
下図のようなネットワーク環境の場合、TCP/IP プロトコルを使って印刷します。Windows XP/Windows 2000/Windows NT/Windows Server 2003 コンピュータの場合は、OS の TCP/IP 印刷機能で印刷することができます。Windows Me/Windows 98 コンピュータの場合は、「Canon LPR Port」をインストールして、LPR port を使って印刷を行います。

設定手順については、次のページをご覧ください。

- 「第 2 章　TCP/IP ネットワークの設定（Windows）」

また、ネットワーク上の Windows XP または Windows 2000、Windows NT、Windows Server 2003 をプリントサーバに設定することでネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバの設定手順については、以下をご覧ください。

- 第 2 章 「プリンタ共有を設定する」（→ P.2-33）

■UNIX サーバまたは Linux サーバがある場合

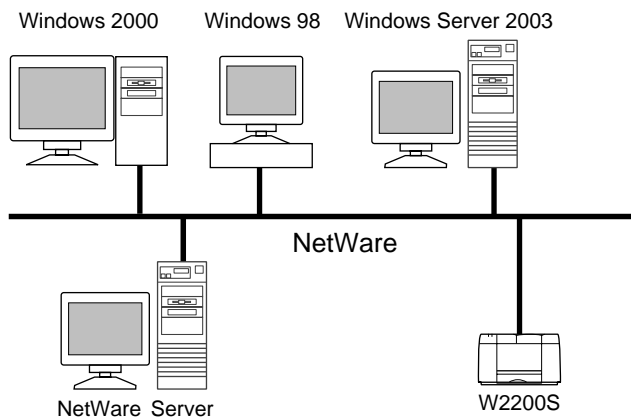
下図のようなネットワーク環境の場合、TCP/IP プロトコルを使って印刷します。UNIX サーバや Linux サーバのプリントサーバを介して印刷を行うと、Windows コンピュータが印刷処理から早く開放され、効率よく使うことができます。

設定手順については、次のページをご覧ください。

- 「第 2 章　TCP/IP ネットワークの設定（Windows）」

メモ

- UNIXコンピュータやLinuxコンピュータのアプリケーションから直接印刷することはできません。
- UNIX コンピュータや Linux コンピュータがあるネットワーク環境でも、NetBIOS プロトコルを併用することは可能です。その場合は、使用するプロトコルの設定を行ってください。

■NetWare サーバがある場合

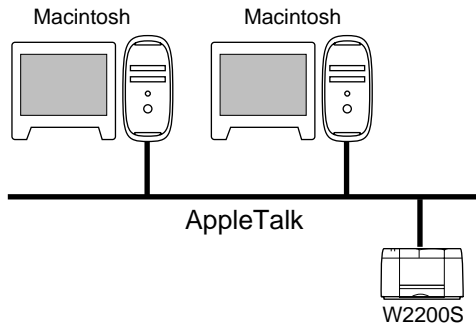
下図のようなネットワーク環境の場合、NetWare プロトコルを使って印刷します。各サーバコンピュータやクライアントコンピュータには、NetWare クライアントソフトウェアのインストールが必要です。

設定手順については、次のページをご覧ください。

- 「第 4 章　NetWare ネットワークの設定（Windows）」

メモ

- NetWare サーバがあるネットワーク環境でも、TCP/IP プロトコルや AppleTalk プロトコル、NetBIOS プロトコルを併用することは可能です。その場合は、使用するプロトコルの設定を行ってください。

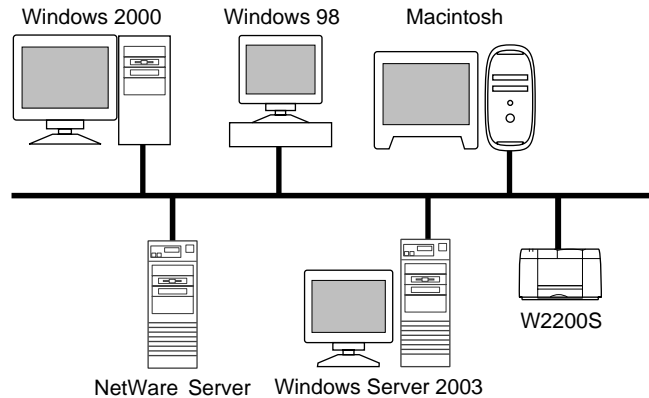
Macintosh ネットワークの例

Macintosh では、使用するプロトコルは AppleTalk（EtherTalk）になります。

設定手順については、次ページをご覧ください。

- 「第 3 章　AppleTalk ネットワークの設定（Macintosh）」

いろいろなコンピュータが混在しているネットワークの例

いろいろなコンピュータが混在しているときは、使用しているコンピュータに応じて各作業を行います。

例えば、Windows 98 と Macintosh を使用している場合は、「Windows ネットワークの例」と「Macintosh ネットワークの例」の両方の設定を行ってください。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

- 「第 2 章　TCP/IP ネットワークの設定（Windows）」
- 「第 3 章　AppleTalk ネットワークの設定（Macintosh）」
- 「第 4 章　NetWare ネットワークの設定（Windows）」

2 TCP/IP ネットワークの設定（Windows）

TCP/IP ネットワークに接続してプリンタを使用するための設定方法や手順について記載しています。

TCP/IP ネットワークで必要な作業について

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1	ネットワークケーブルを接続する	→セットアップガイド

「セットアップガイド」にしたがって、ネットワークケーブルの接続を行ってください。

2	プリンタの IP アドレスを設定する	→ P.2-3

プリンタのプロトコル設定ができるように、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるように設定します。以下のいずれかを使用して設定できます。
・GARO Device Setup Utility（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
・ARP/PING コマンド
・プリンタの操作パネル

3	プリンタの TCP/IP プロトコルを設定する	→ P.2-10

プリンタのプロトコル設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。
・Web ブラウザ（リモート UI）
・FTP クライアント

4	コンピュータを設定する	→ P.2-18

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

お願い

- 手順 1、2、3 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。
- TCP/IP ネットワークで印刷するときは、以下のプリントアプリケーションが使用できます。
  - LPD
  - FTP
  - RAW（Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 のみ）
  - IPP（Windows Me/Windows 98/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 のみ）

プリンタの IP アドレスを設定する

プリンタのプロトコル設定をする前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるようにプリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。

- GARO Device Setup Utility（→ P.2-4）
- ARP/PING コマンド（→ P.2-6）
- プリンタの操作パネル（→ P.2-7）

お願い

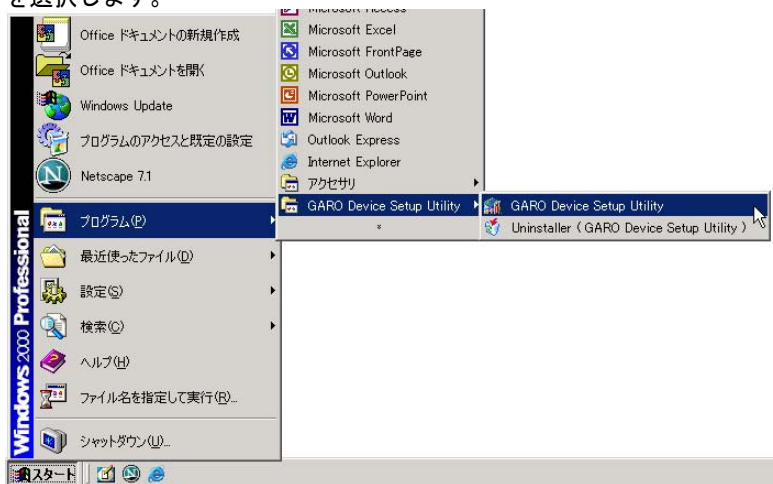
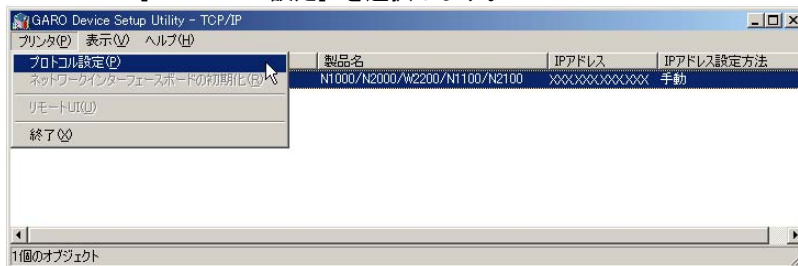
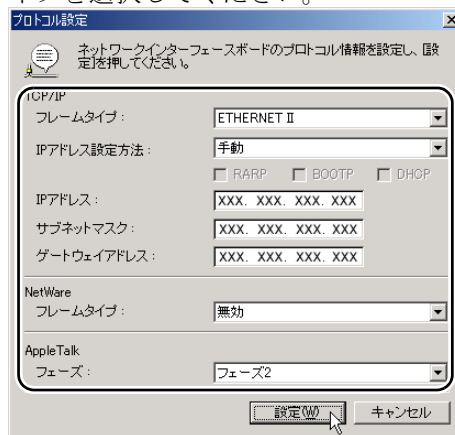
- GARO Device Setup Utility でプリンタのネットワーク設定を行うと、サブネットマスクとゲートウェイアドレスが［0.0.0.0］に設定されますので、リモート UI またはプリンタの操作パネルでお使いのネットワーク設定に変更してください。
- GARO Device Setup Utility が対応していない OS をお使いの場合は、ネットワーク上にある他のコンピュータから設定を行うか、ARP/PING コマンドまたは、プリンタの操作パネルを使用して設定を行ってください。
- GARO Device Setup Utility を使用する場合は、お使いのコンピュータに GARO Device Setup Utility がインストールされている必要があります。お使いのコンピュータに管理者用の GARO Device Setup Utility をインストールしてください。（→セットアップガイド）
- プリンタの IP アドレスの設定を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。
- GARO Device Setup Utility または ARP/PING コマンドによる設定作業では、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行って「ステータス　プリント」または、「カクチョウ I/F　プリント」を行ってください。
  1. ［オンライン］キーを押して、オンラインランプを消灯します。
  2. ［ユーティリティ］キーを押します。
  3. ［＜］、［＞］キーで「ステータス　プリント」または、「カクチョウ I/F　プリント」を選択し、［∨］キーを押します。
- DHCP、BOOTP、RARP サーバのいずれかを使用してプリンタの IP アドレスを自動取得する場合は、操作パネルで「IP モード」を「ジドウ」に設定し、使用するサーバを「ON」に設定してください。
- DHCP、BOOTP、RARP サーバを使用する場合は、プリンタの IP アドレスの設定操作は不要です。ただし、プリンタの IP アドレスは電源を入れるたびに変わることがありますので、アクセスするには、その都度プリンタの IP アドレスを「ステータスプリント」または「カクチョウ I/F　プリント」で調べることが必要になります。

GARO Device Setup Utility による設定

Windows コンピュータをお使いの場合は、付属のユーティリティソフト「GARO Device Setup Utility」で本プリンタのネットワーク設定を行います。

メモ

● Macintosh コンピュータをお使いの場合は、本プリンタの操作パネルから設定を行ってください。（→セットアップガイド）

1 ［スタート］メニューの［プログラム］から［GARO Device Setup Utility］を選択します。

2 一覧に表示されたプリンタ名から設定するプリンタを選択し、［プリンタ］メニューの［プロトコル設定］を選択します。

お願い

- 本プリンタが見つからない場合は、コンピュータとプリンタが同じサブネット内にあることを確認してください。GARO Device Setup Utility による設定は、プリンタを同じサブネット内にあるコンピュータから行ってください。

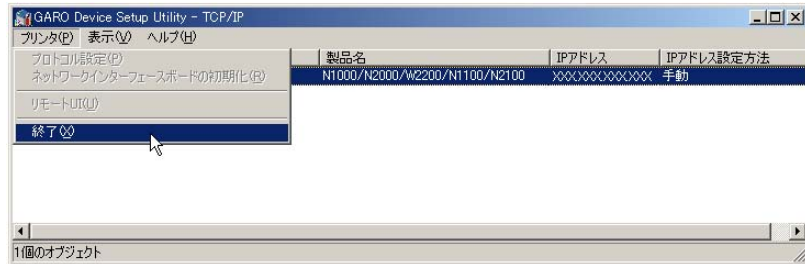
3 本プリンタに割り当てる IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力して［設定］ボタンを押します。

IP アドレスを自動設定する場合は、［IP アドレス設定方法］で［自動］を選択してから、[DHCP]、[BOOTP]、[RARP] のうち、使用する項目にチェックマークを付けてください。固定 IP を指定する場合は、［IP アドレス設定方法］で［手動］を選択してください。

AppleTalk で印刷する場合は、［AppleTalk フェーズ］で［フェーズ 2］を選択してください。

NetWare で印刷する場合は、［フレームタイプ］でお使いのフレームタイプを選択してください。

4 確認画面が表示されたら、[OK] ボタンを押します。

5 設定が終わったら、[プリンタ] メニューの [終了] を選択して閉じます。

ARP/PING コマンドによる設定

1 MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示して、スーパーユーザとしてログインします。

2 次のコマンドを実行して、arp テーブルに静的なエントリを追加します。

arp　-s　＜ IP アドレス＞　＜ MAC アドレス＞

IP アドレス：

プリンタに割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた 4 つの数字（10 進の 0 ～ 255 の数字）で指定します。

MAC アドレス：

プリンタの MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」（UNIX をお使いの場合は「：」）で区切って入力します。

入力例（Windows）：

```
arp -s XXX.XXX.XXX.XXX 00-00-85-XX-XX-XX
```

入力例（UNIX）：

```
arp -s XXX.XXX.XXX.XXX  00:00:85:XX:XX:XX
```

メモ

- IBM-AIX をお使いの場合は、「arp -s ether ＜ IP アドレス＞ ＜ MAC アドレス＞」と入力してください。

3 **次のコマンドを実行して、ネットワークインタフェースボードに IP アドレスを設定します。**

ping ＜ IP アドレス＞ -l 479（Windows をお使いの場合）

ping -s ＜ IP アドレス＞ 479（Solaris 1.x / 2.x をお使いの場合）

ping ＜ IP アドレス＞ 479（IBM-AIX をお使いの場合）

ping ＜ IP アドレス＞ 487（HP-UX をお使いの場合）

ping -s 479 ＜ IP アドレス＞（Red Hat Linux/LASER5 Linux をお使いの場合）

ping -s 480 ＜ IP アドレス＞（TurboLinux をお使いの場合）

IP アドレス：

手順 2 で使用した IP アドレスと同じアドレスを指定します。

入力例（Windows）：

ping XXX.XXX.XXX.XXX -l 479

メモ

- 「-l」の l はアルファベットの l（エル）です。
- サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、［0.0.0.0］に設定されます。

これでプリンタのプロトコル設定の準備は完了しました。

プリンタの操作パネルによる設定

1 **プリンタの操作パネルで［オンライン］キーを押して、オンラインランプを消します。**

2 **［セットアップ］キーを押します。**

3 以下の項目を［<］、［>］キーで選択し、［V］キーを押します。

「インタフェース　セッテイ」→「カクチョウ　ネットワーク」→「TCP/IP セッテイ」→「フレームタイプ」

4 ［<］、［>］キーで「Ethernet 2」を選択し、［V］キーを押します。

5 ［<］、［>］キーで「IP モード」を選択して［V］キーを押します。

6 プリンタの IP アドレスの設定方法を指定します。［<］、［>］キーで以下のどちらかを選択し、［V］キーを押します。

ジドウ：
DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定するときに選択します。

シュドウ：
プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるときに選択します。

7 手順 6 で「ジドウ」を選択したときは、［<］、［>］キーで「プロトコル」を選択し、［V］キーを押して「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」のそれぞれを使用する（ON）か使用しない（OFF）かを設定します。
手順 6 で「シュドウ」を選択したときは、［<］、［>］キーで「IP セッテイ」を選択し、［V］キーを押して「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルト G/W」を設定します。

メモ

- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルト G/W」は、以下の方法で設定してください。
  1. ［<］、［>］キーで目的のフィールドを選択し、［V］キーを押します。
  2. ［<］、［>］キーで目的の数値を選択し、［V］キーを押します。
  3. すべてのフィールドに対し、1 ～ 2 を繰り返します。

8 ［∧］キーを 3 回押してから、［<］、［>］キーで「セッテイ　トウロク」を選択し、［V］キーを押します。

お願い

- 手順 4 ～手順 7 で設定値を変更した場合は、必ず「セッテイ　トウロク」を実行してください。実行しないと、設定内容は反映されません。

9 操作パネルに「ジッコウシマスカ？」と表示されますので、［V］キーを押します。

10 「トウロク　シュウリョウ」と表示されたら、［オンライン］キーを押してオンラインランプを点灯します。

印刷できる状態になります。

プリンタの TCP/IP プロトコルを設定する

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。

- Web ブラウザ（リモート UI）（→ P.2-10）
- FTP クライアント（→ P.2-16）

Web ブラウザ（リモート UI）による設定

1 **Web ブラウザを起動し、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力して［Enter］キーを押します。**

`http://` ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

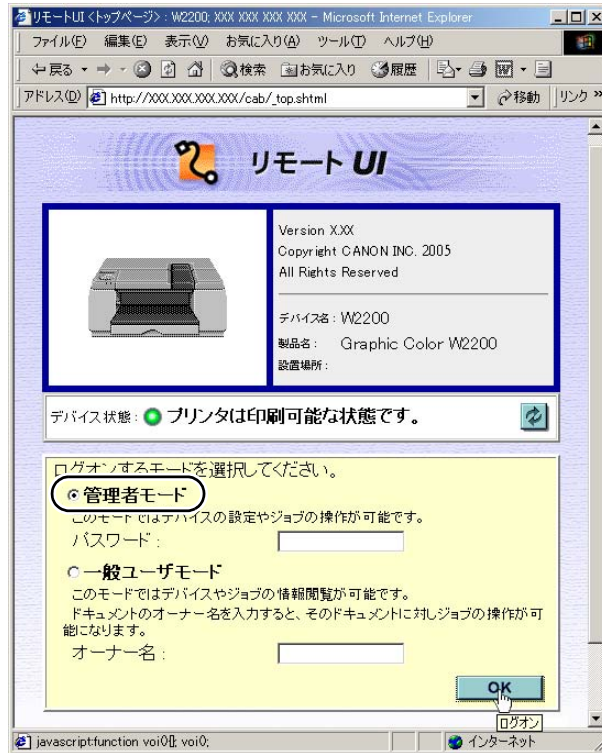
入力例：`http://XXX.XXX.XXX.XXX/`

お願い

- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.04 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。ただし、Netscape Navigator 6 以降には対応しておりません。
- Turbo Linux 4.0 をお使いの場合は、Netscape Communicator 4.08 で本製品の設定をすることはできません。他のバージョンの Web ブラウザをお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加してください。（設定はネットワーク環境によって異なります）
- Web ブラウザで JavaScript とクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

メモ

- プリンタの名前でリモート UI を起動する場合は、DNS 環境および本ボードの DNS 設定が正しく行われていることを確認してください。
- リモート UI を起動し、Raw モードおよび NetBEUI で印刷履歴を表示した場合、「ドキュメント名」と「ユーザ」の情報は取得できません。そのため、Raw モードの場合「ドキュメント名」は“不明”、「ユーザ」は“RawTCP”、NetBEUI の場合「ドキュメント名」は“不明”、「ユーザ」は“LSLM_USER”としか表示されません。

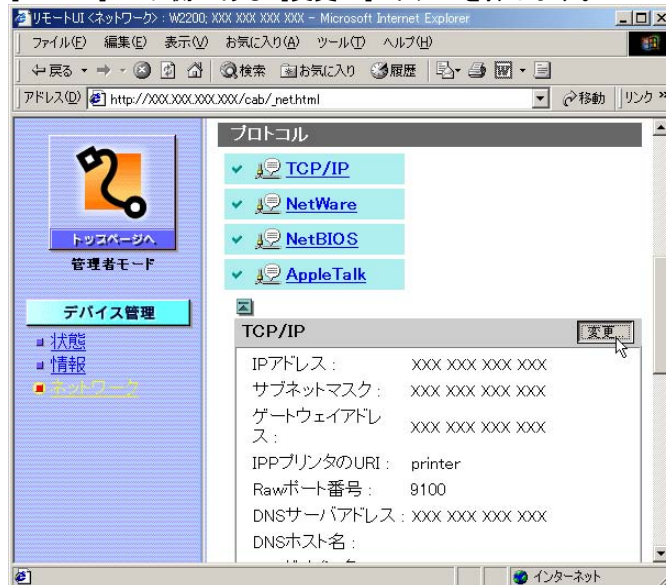
2 ［管理者モード］を選択して［OK］ボタンを押します。

リモートUIが起動します。

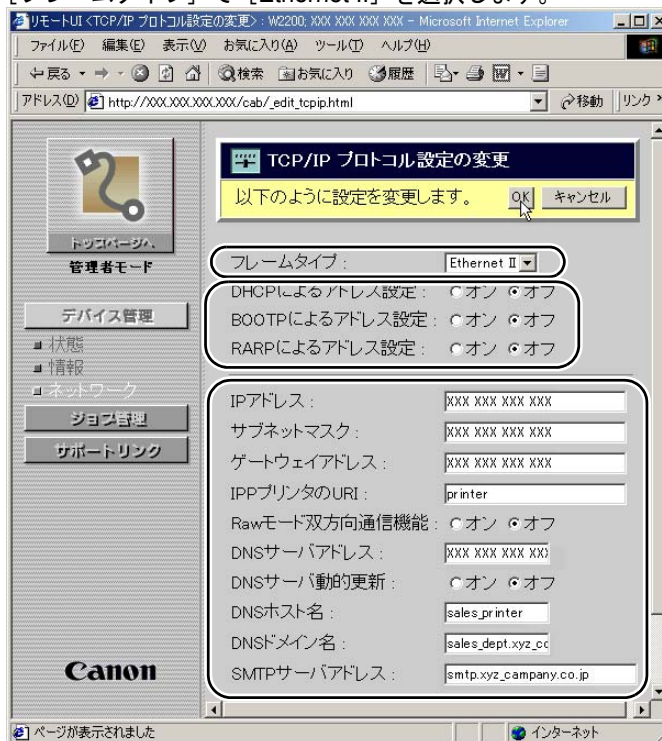
メモ

● プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してから［OK］ボタンを押してください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］メニューの［ネットワーク］を選択します。

［ネットワーク］ページが表示されます。

4 ［TCP/IP］の右側にある［変更 ...］ボタンを押します。

［TCP/IP プロトコル設定の変更］ページが表示されます。

5 ［フレームタイプ］で［Ethernet II］を選択します。

メモ

- ［無効］を選択すると、TCP/IP ネットワーク上でネットワークインタフェースボードが認識されなくなります。
- ［無効］にしたプリンタを使用するには、「プリンタの IP アドレスを設定する」（→ P.2-3）を参照してください。

6 プリンタの IP アドレスの設定方法を指定します。

IP アドレスを指定する場合は、すべて「オフ」を選択してください。自動取得する場合は、［DHCP］、［BOOTP］、［RARP］のうち、IP アドレスの設定に使用する項目を［オン］にしてください。

メモ

- プリンタの IP アドレスを DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して設定する場合は、プリンタの起動時またはリセット時に DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。［DHCP］、［BOOTP］、［RARP］を［オフ］にしたときは、その項目のチェックは行われません。
  これらがいずれも使用できないときは、［IP アドレス］に設定されている IP アドレスを割り当てます。

- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは、1 〜 2 分程度かかりますので、使用しない項目を［オフ］に設定しておくことをおすすめします。
- DHCP、BOOTP、RARP を使って IP アドレスを割り当てるには、ネットワーク内にそのプロトコルのサーバが起動されている必要があります。

7 ［IP アドレス］［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を入力します。

［IP アドレス］はプリンタの IP アドレスを、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］は TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

メモ

- DHCP、BOOTP、RARP を使用している場合は、これらのいくつかの項目は使用されません。DHCP、BOOTP、RARP から取得した値を使用します。

8 ［IPP プリンタの URL］、［Raw モード双方向通信機能］で、IPP と RAW の設定をします。通常は変更する必要はありません。

9 DNS の設定を行います。

［DNS サーバアドレス］に DNS サーバの IP アドレスを入力します。さらに［DNS ドメイン名］に本プリンタの所属するドメイン名を入力します。（入力例：sales_dept.xyz_company.co.jp）

メモ

- DNS は以下の場合に使用されます。
  - DNS の動的更新機能を利用するとき（手順 10 で［DNS 動的更新］を［オン］にしたとき）
  - SMTP サーバ名の名前解決をするとき（手順 11 で SMTP サーバを名前で指定したとき）

10 DNS の動的更新機能を利用するときは、［DNS 動的更新］で［オン］を選択して以下の項目を設定します。

［DNS ホスト名］は、本プリンタのホスト名を入力します。（入力例：sales_printer）

［DNS ドメイン名］は、本プリンタの所属するドメイン名を入力します。（入力例：sales_dept.xyz_ company.co.jp）

メモ

- DNS の動的更新機能とは、プリンタの IP アドレス［DNS ホスト名］、［DNS ドメイン名］に設定した名前を自動的に DNS サーバに登録する機能です。
- この機能は、動的に登録できる DNS サーバ（ダイナミック DNS サーバ）がある環境で使用できます。
- この機能を使用し、LPR で［DNS ホスト名］と［DNS ドメイン名］を指定することで、本プリンタの IP アドレスを固定しないでも使用することができるようになります。

11 **紙づまりが起きたときなどにプリンタ状況を電子メールで送信する機能を利用するときは、［SMTP サーバアドレス］にメールサーバの IP アドレスを入力します。**

メモ

- この機能を利用するときは、さらに詳細な設定をする必要があります。（→「電子メール通知機能による管理」P.2-37）

12 **［OK］ボタンを押します。**

13 **左側のメニューで［デバイス管理］の［ネットワーク］を選択し、［リセット］ボタンを押します。**

ネットワークインタフェースボードが再起動すると、設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

FTP クライアントによる設定

1 MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示します。

2 次のコマンドを実行します。

ftp ＜プリンタの IP アドレス＞

3 ユーザ名として root を入力します。

プリンタにパスワードを設定しているときは、さらにパスワードを入力してください。

パスワードを設定していないときは、パスワードは入力せず［Enter］キーのみ押してください。

メモ

- ユーザ名は root 以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。
- Anonymous ログインはできません。

4 次のコマンドを実行して config ファイルをダウンロードします。

```
get config
```

5 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを編集します。

各項目の説明については、「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-3）を参照してください。

6 次のコマンドを実行して config ファイルをアップロードします。

```
put config CONFIG
```

7 プリントサーバをリセットするかプリンタを再起動したあとに設定が有効になります。プリントサーバをリセットするときは、次のコマンドを実行してください。

```
get reset
```

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

コンピュータを設定する

プリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

● TCP/IP ネットワークの設定

印刷を行う全コンピュータに TCP/IP クライアントソフトをインストールし、TCP/IP ネットワークが使用できるようにします。詳しくは、OS の説明書を参照してください。

- LPD

  TCP/IP で一般的に使用されているプリントアプリケーションです。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。(→「LPD/RAW 接続の設定」P.2-19)

- RAW

  Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 で利用できるプリントアプリケーションです。LPD より高速に印刷できます。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。(→「LPD/RAW 接続の設定」P.2-19)

- IPP

  Windows Me/Windows 98/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 で利用できるプリントアプリケーションです。HTTP プロトコルを使用してインターネット/イントラネット上のプリンタに印刷できます。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。(→「IPP 接続の方法」P.2-29)

- FTP

  FTP クライアントソフトを使ってプリンタにファイルをコピーすることで印刷するプリントアプリケーションです。(→「FTP クライアントによる管理」P.2-35)

メモ

● ネットワーク上の Windows XP または Windows 2000、Windows NT、Windows Server 2003 をプリントサーバに設定することでネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。設定手順については、「プリンタ共有を設定する」(→ P.2-33)を参照してください。

LPD/RAW 接続の設定

■Windows Me/Windows 98 の場合

1 プリンタドライバをインストールします。（→セットアップガイド）

プリンタの接続先を選択する画面が表示されるときは、［ローカルプリンタ］を選択します。［ネットワークプリンタ］を選択しないでください。

プリンタで使用するポートはインストール後に変更します。ここでは［LPT1］などの任意のポートを選択してください。

2 プリンタに付属の CD-ROM に入っている「LPR Port」をインストールします。

▼ プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

▼［マイ コンピュータ］の［CD-ROM ドライブ］アイコンを選択し、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

▼［Lprport］フォルダを開きます。

▼［Setup］（または［Setup.exe］）アイコンを起動します。

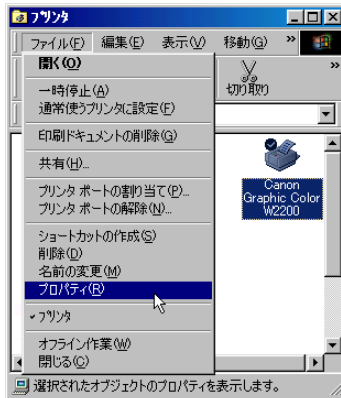
▼ 画面の指示に従ってインストールを行います。

お願い

● お使いの環境によっては、CD-ROM をドライブにセットしたときに「Setup Menu」ウィンドウが表示されます。このときは、［終了］ボタンを押してから上記手順を行ってください。

3 プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。

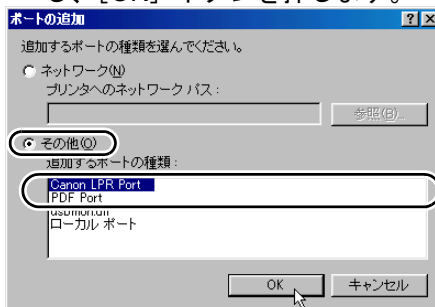
▼［スタート］メニューから［設定］の［プリンタ］を選択します。

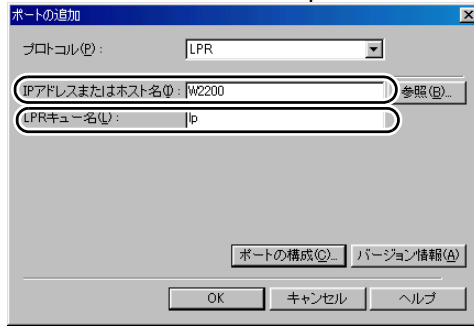
▼ 手順１でインストールしたプリンタドライバのプリンタアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

4 ポートの設定を行います。

▼［詳細］シートを選択します。

▼［ポートの追加 ...］ボタンを押して［ポートの追加］ダイアログボックスを表示します。

▼［その他］ラジオボタンを選択します。

▼［追加するポートの種類］の一覧で［Canon LPR Port］を選択し、［OK］ボタンを押します。

▼［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されますので、［IP アドレスまたはホスト名］にプリンタの名前または IP アドレスを半角文字で入力します。

▼［LPR キュー名］に「lp」と入力し、［OK］ボタンを押します。

お願い

- ポートの設定をする前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。
- 上記手順のあと、プリンタと通信してプリンタで利用できる送信モードを調べます。プリンタとの通信に失敗したときは、エラーメッセージが表示されますので、［いいえ］を押してバイトカウントモードを OFF に設定してください。

5 ［OK］ボタンを押し、設定を有効にします。

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

■Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 の場合

1 プリンタドライバをインストールします。

▼ 付属のUser Software CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
「Setup Menu」が表示されます。User Software CD-ROM のオートスタートアップ機能がオフになっている場合は、[マイコンピュータ]の[CD-ROM ドライブ]アイコンを選択し、[ファイル]メニューの[自動再生]を選択してください。

▼ [プリンタドライバのインストール]を押し、画面の指示に従って操作します。

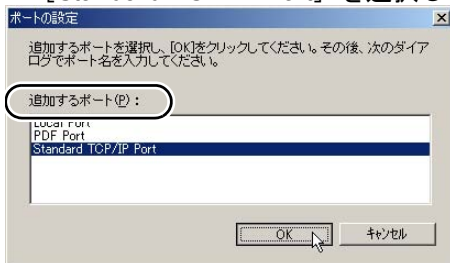
▼「インストールするプリンタの選択」画面が出たら、[追加と削除]ボタンを押します。

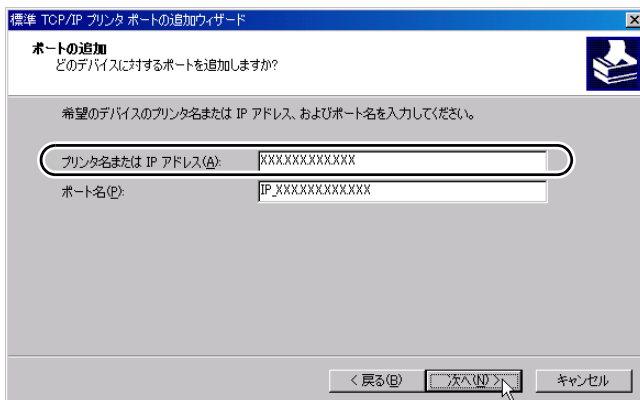
▼ お使いのプリンタ名を選択して、[インストールするプリンタ一覧へ追加]ボタンを押し、[OK]ボタンを押します。

▼ 表示されたプリンタ機種名を確認し、[次へ]ボタンを押します。

2 TCP/IP 接続プリンタのポートを追加します。

▼ ポートの選択画面が表示されたら、[ポートの追加]を選択し、[設定]ボタンを押します。

▼［Standard TCP/IP Port］を選択し、［OK］ボタンを押します。

▼「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されたら、［次へ］ボタンを押します。

▼［プリンタ名または IP アドレス］に本プリンタの IP アドレスを入力し、［次へ］ボタンを押します。

▼［アダプタの種類］に［Canon Network Printing Device with P9100］が選択されていることを確認し、［完了］ボタンを押します。

本プリンタのポートが追加されます。

3 ［利用できるポート］に［IP_xxx.xxx.xxx.xxx］が選択されていることを確認し、［プリンタ名］に本プリンタのプリンタ名を入力して［次へ］ボタンを押します。

4 画面の指示に従って操作します。

プリンタドライバのインストールが始まります。
コンピュータの再起動が完了したら、プリンタドライバのインストールとポートの設定は完了です。

お願い

- 追加されたTCP/IPポートは標準設定でSNMPステータスが有効に設定されています。本ボードはSNMPによるプリンタステータス管理に対応していますので、そのまま設定を変更しないでご使用ください。

■Windows NT 4.0 の場合

1 ［Microsoft Windows TCP/IP 印刷］がインストールされているかを確認します。

▼［スタート］メニューから［設定］の［コントロールパネル］を選択します。

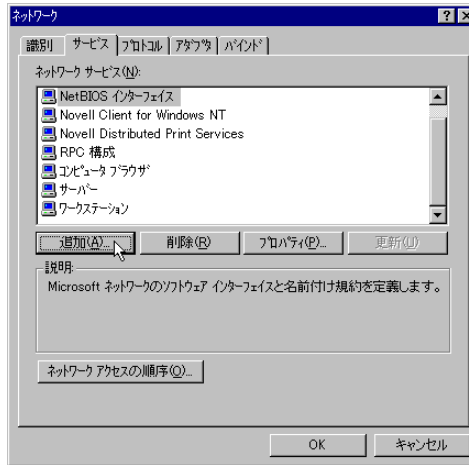
▼［ネットワーク］アイコンを開きます。

▼［サービス］シートを選択します。

メモ

- ［ネットワーク サービス］一覧に［Microsoft TCP/IP 印刷］がないときは手順2に、あるときは手順3におすすみください。

2 ［Microsoft Windows TCP/IP 印刷］がインストールされていないときは、追加します。

▼［追加 ...］ボタンを押します。

▼［ネットワーク サービス］から［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択して［OK］ボタンを押します。

▼ Windows NT のセットアップディスクを要求されますので、ディスクをセットして続行してください。

▼ファイルのコピーが終了すると［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されますので［OK］ボタンを押します。

▼［システム再起動］ボタンを押して Windows NT を再起動します。

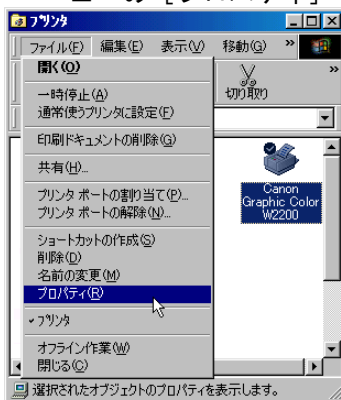
3 プリンタに付属のセットアップガイドを参照して、プリンタドライバをインストールします。

プリンタの管理を選択する画面が表示されるときは、［このコンピュータ］を選択します。［ネットワークプリンタサーバ］を選択しないでください。

プリンタで使用するポートはインストール後に変更します。ここでは［LPT1］など任意のポートを選択してください。

4 プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。

▼［スタート］メニューから［設定］の［プリンタ］を選択します。

▼ 印刷に使用するプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

5 印刷先の設定を行います。

▼［ポート］シートを選択します。

▼［ポートの追加 ...］ボタンを押して［プリンタポート］ダイアログボックスを表示します。

▼［利用可能なプリンタポート］で［LPR Port］を選択して［新しいポート ...］ボタンを押します。

▼［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されますので、［lpd を提供しているサーバの名前またはアドレス］にプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

▼［サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名］に「lp」と入力して［OK］ボタンを押します。

6 ［OK］ボタンを押して、設定を有効にします。

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

■UNIX/Linux サーバのスプーリングシステムを使用する場合

メモ

- ここでは、LPD を使用するときの説明をしています。FTP を使用する手順については、「コンピュータからプリンタを管理する」（→ P.2-35）を参照してください。

1 ワークステーションにスーパーユーザとしてログインします。

2 スプーリングシステムの設定を行います。

- Solaris 1.x をお使いの場合の設定例：

/etc/printcap ファイルに次の内容を追加します。

＜印刷キュー名＞ | ＜コメント＞：￥

:lp= ＜デバイスのスペシャルファイル＞：￥

:sd= ＜スプールディレクトリ＞：￥

:rm= ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞

入力例：

```
print_queue_name|comments:￥
:lp=/var/spool/print_queue_name/.null:￥
:sd=/var/spool/print_queue_name:￥
:rm=printer_host_name
```

- Solaris 2.x をお使いの場合の設定例：
  - ▼ admintool ユーティリティを起動します。
  - ▼ Browse → Printers を選択します。
  - ▼ Edit → Add を選択し、Access to Printer... を選択します。
  - ▼ Printer Name、Print Server に任意の印刷キュー名とプリントの IP アドレスまたは名前を入力します。
  - ▼［OK］を選択します。
- Red Hat Linux または LASER5 Linux をお使いの場合：
  - ▼ control-panel にある Printer Configuration ユーティリティを起動します。
  - ▼ 追加 → 他の Unix（lpd）のキューを選択し、［OK］を選択します。

▼ プリンタ名、リモートホスト、リモートキューに、任意の印刷キュー名、プリントの IP アドレスまたは名前、「lp」を入力します。

- TurboLinux をお使いの場合：

▼ turboprintcfg コマンドを実行します。

▼ Add → Remote LPD Queue を選択し、［OK］を選択します。

▼ 任意の印刷キュー名を入力し、Continue を選択します。

▼ LPD Settings の <Configure...> を選択し、Remote Host name、Remote Queue に、プリントの IP アドレスまたは名前と「lp」を入力します。

▼ 最初の画面に戻り Save & Exit を選択します。

▼ /etc/printcap ファイルを開き、追加したプリントキューのセクションにある「:if=」で始まる 1 行を削除します。

- HP-UX をお使いの場合の設定例：

▼ SAM ユーティリティを起動します。

▼ Printers and Plotters-> メニューの Printers/Plotters を選択します。

▼ Actions メニューの Add Remote Printer/Plotter... を選択します。

▼ Printer Name、Remote System Name に、任意の印刷キュー名とプリントの IP アドレスまたは名前を入力します。

▼ Remote Printer Name に「lp」と入力します。

▼ Remote Printer is on a BSD System を選択します。

▼［OK］を選択します。

- IBM-AIX をお使いの場合の設定例：

▼ SMIT ユーティリティを起動します。

▼ 印刷スプーリング→印刷キューの追加を選択し、remote を選択します。

▼ 標準処理の追加を選択します。

▼ 追加するキュー名、リモート・サーバのホスト名に、任意の印刷キュー名とプリントの IP アドレスまたは名前を入力します。

▼ リモート・サーバ上のキュー名に「lp」と入力します。

▼ リモート・サーバ上の印刷スプーラタイプに「BSD」と入力します。

メモ

- admintool ユーティリティ、SAM ユーティリティ、SMIT ユーティリティは、OS に付属のユーティリティです。詳しい使用方法は、各 OS の説明書を参照してください。
- 上記の手順は、設定手順の例です。お使いの環境によっては、設定手順が異なることがあります。

これでホストコンピュータの設定は完了しました。

IPP 接続の方法

■Windows Me/Windows 98 をお使いの場合

1 マイクロソフト社から提供されるWindows Me/Windows 98用IPPクライアントソフトをインストールし、コンピュータを再起動します。

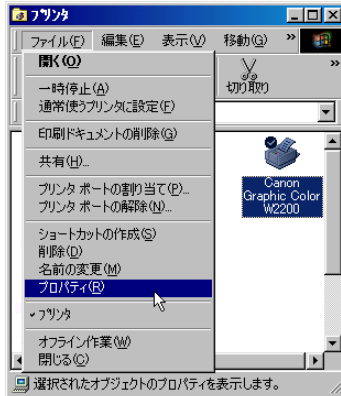
2 プリンタドライバをインストールします。（→セットアップガイド）

プリンタの接続先を選択する画面が表示されるときは、［ローカルプリンタ］を選択します。

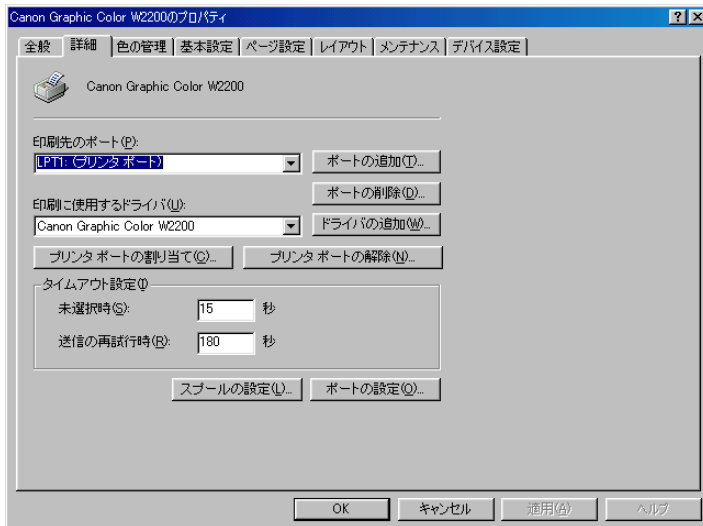
プリンタで使用するポートはインストール後に変更します。ここでは［LPT1］など任意のポートを選択してください。

3 プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。

▼［スタート］メニューから［設定］の［プリンタ］を選択します。

▼ 印刷に使用するプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

4 ポートの設定を行います。

▼［詳細］シートを選択します。

▼［ポートの追加 ...］ボタンを押して［ポートの追加］ダイアログボックスを表示します。

▼［ネットワーク］ラジオボタンを選択します。

▼［プリンタへのネットワーク パス］に以下の URL を入力し、［OK］ボタンを押します。プリンタの設定で IPP の URL を変更しているときは、変更した URL を入力してください。

http://＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞/printer

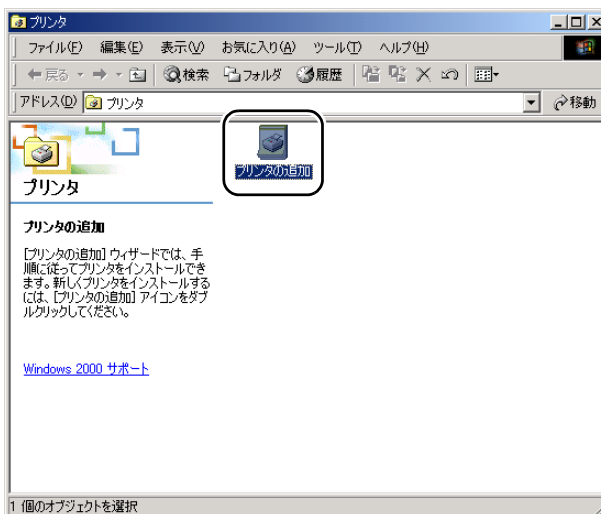
5 ［OK］ボタンを押して設定を有効にします。

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

■Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 をお使いの場合

1 プリンタの追加ウィザードを起動します。

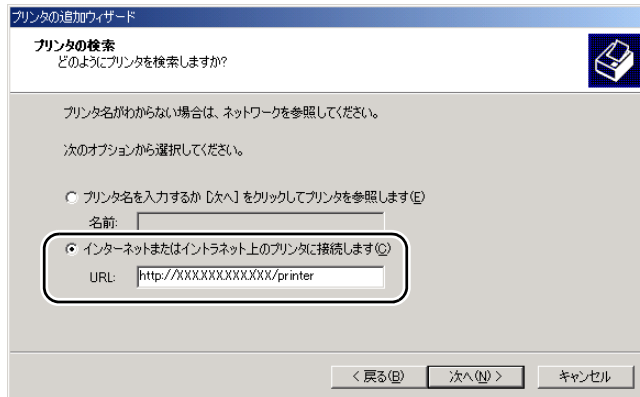
▼［スタート］メニューから［設定］の［プリンタ］を選択します。

▼［プリンタの追加］アイコンを開きます。

2 プリンタの URL を指定します。

▼［次へ］ボタンを押します。

▼プリンタの接続方法を選択する画面が表示されますので、［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］ボタンを押します。

▼プリンタの検索画面が表示されますので、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択して、［URL］に以下の URL を入力します。プリンタの設定で IPP の URL を変更しているときは、変更した URL を入力してください。

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /printer

▼ プリンタの製造元とプリンタ名を選択する画面が表示されますので、［ディスク使用 ...］ボタンを押して、CD-ROM ドライブの中のプリンタドライバが入っているフォルダを指定します。

3 以下、画面の指示にしたがってインストールを完了させます。

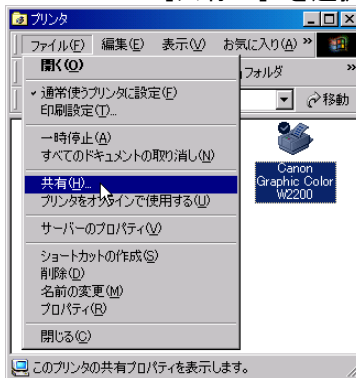
これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

プリンタ共有を設定する

以下の手順で、ネットワーク上の Windows XP または Windows 2000、Windows NT、Windows Server 2003 をプリントサーバに設定することでネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、プリントジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替ドライバをインストールしておくと、各コンピュータはプリンタドライバをネットワーク経由でインストールできるようになります。

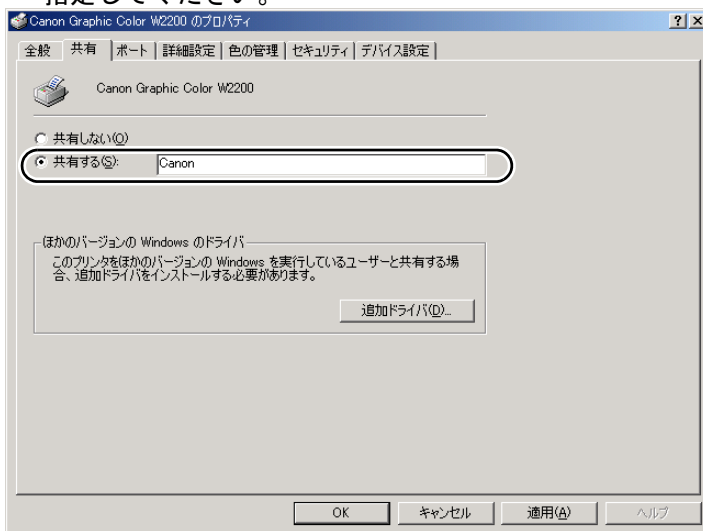
1 プリンタドライバのプロパティダイアログボックスの［共有］シートを表示します。

▼［スタート］メニューから［設定］の［プリンタ］を選択します。

▼ 印刷に使用するプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［共有 ...］を選択します。

2 共有設定を行います。

▼［共有する］を選択して任意の共有名を入力します。

▼［代替ドライバ］（Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 をお使いのときは［追加ドライバ］ボタン）からインストールするプリンタドライバを選択します。

▼［OK］を押します。代替ドライバをインストールするときは、プリンタドライバのファイルの場所を入力する画面が表示されますので、プリンタに付属の User Software CD-ROM をドライブにセットしてプリンタドライバの入っているフォルダを指定してください。

お願い

● Windows NT 4.0 をお使いの場合、代替ドライバの機能を利用するためには、Windows NT に Service Pack 6 以降をインストールする必要があります。

これで共有プリンタの設定が完了しました。

他のコンピュータにプリンタドライバをインストールするときは、プリンタウィザードのプリンタの接続先を選択する画面で［ネットワークプリンタ］を選択してプリントサーバに設定したコンピュータの共有プリンタを選択してください。

メモ

● IIS がインストールされている Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 でプリンタ共有を行う場合、付属の User Software CD-ROM に収録されている「DSE（Device Status Extension）」をインストールすると、クライアントコンピュータから Web ブラウザでプリンタの情報表示や印刷ジョブ管理が行えるようになります。「DSE」のインストール方法については、User Software CD-ROM の［DSE］フォルダ内の Readme ファイルを参照してください。

コンピュータからプリンタを管理する

以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上からプリンタの状態を調べることやプリンタの設定を行うことができます。

- Web ブラウザ（リモート UI）（→ P.2-35）
- FTP クライアント（→ P.2-35）

Web ブラウザ（リモート UI）による管理

本ネットワークインタフェースボードに内蔵されているリモート UI というソフトウェアを使って、Web ブラウザ上でプリンタの管理をすることができます。

リモート UI の起動方法は「Web ブラウザ（リモート UI）による設定」（→ P.2-10）の手順 1 を参照してください。

FTP クライアントによる管理

以下の手順で、FTP クライアントを使ってプリンタの管理をすることができます。また、FTP クライアントを使うとプリンタからファイルを印刷することや、プリンタのネットワークモジュールのファームウェアのバージョンアップなども行うことができます。

1 MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。

2 次のコマンドを実行します。

ftp ＜プリンタの IP アドレス＞

3 ユーザ名として root を入力し、［Enter］キーを押します。

プリンタにパスワードを設定しているときは、さらにパスワードを入力してください。パスワードを設定していないときは、パスワードは入力せずに［Enter］キーのみを押してください。

root でログインした場合は、以下の操作を行うことができます。

- ファイルの印刷：put ＜印刷するファイル名＞ PRINTER
- ネットワークインタフェースボードのリセット：get reset
- 初期設定値の取得：get defaults
- 現在の設定値の取得：get config ＜保存する設定ファイル名＞
- 設定ファイルによるネットワークインタフェースボードの設定：
  put ＜設定ファイル名＞ CONFIG

- ネットワークインタフェースボードファームウェアのアップデート：
  put ＜ファームウェアのファイル名＞ FLASH
- FTP コネクションの解除：close
- FTP の終了：quit
- コマンド一覧の表示：remotehelp

お願い

- Windows 用プリンタドライバで作成したファイルなどバイナリファイルを印刷するときは、バイナリモードで印刷してください。

メモ

- ユーザ名は root 以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。
- Anonymous ログインはできません。

電子メール通知機能による管理

紙づまりが起きたときやインクがなくなったときなどに電子メールで通知させることができます。以下のようなときにまた、設定により一部の状況のみ通知させるようにすることもできます。

- デバイスエラー発生時
  - 紙づまり、用紙切れ、用紙交換要求などのプリンタエラーや電源を入れなおす必要があるプリンタエラーが発生したとき
  - インクなどの消耗品がなくなったとき、交換が必要なとき

例えば、プリンタの後ろ上カバーが開いているときに以下のような電子メールを受信できます。

```
件名：［DEVICE ERROR］（50528256）
本文：エラーが発生しています。
        後ろ上カバーが開いています。
      --------
      製品名：Graphic Color W2200S


      設置場所：○×ビル 3 階

      システム情報部システム管理課
      斉藤 TEL xxx-xxxx
```

お願い

- 一部のエラーは電子メールで通知されません。
- 電子メールの送信に失敗したなどの理由で送信する電子メールが16個以上になった場合は、古い電子メールは削除され送信されません。
- プリンタ状況を電子メールで通知させるには、Web ブラウザ（リモート UI）を使って、「電子メール通知機能の設定」（→ P.2-38）を行ってください。

メモ

- 設定により一部の状況のみ通知させるようにすることもできます。

電子メール通知機能の設定

1 Web ブラウザを起動し、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力して［Enter］キーを押します。

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

入力例：http://XXX.XXX.XXX.XXX/

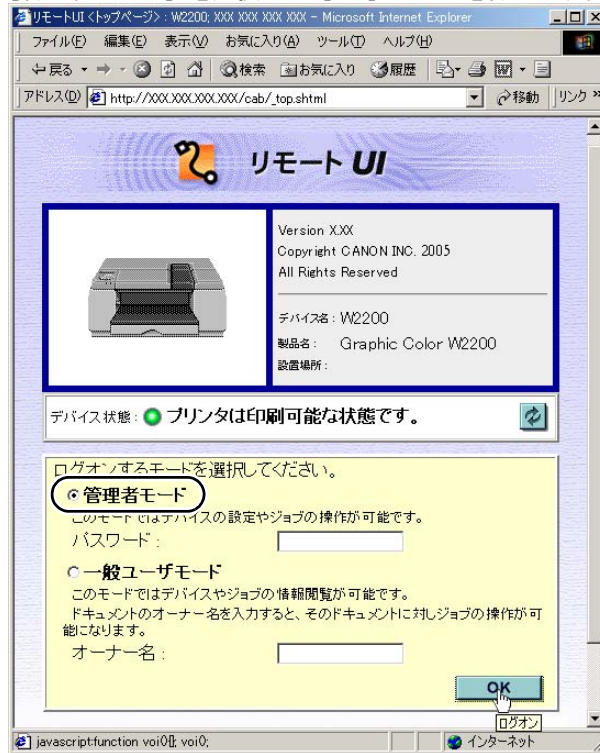
お願い

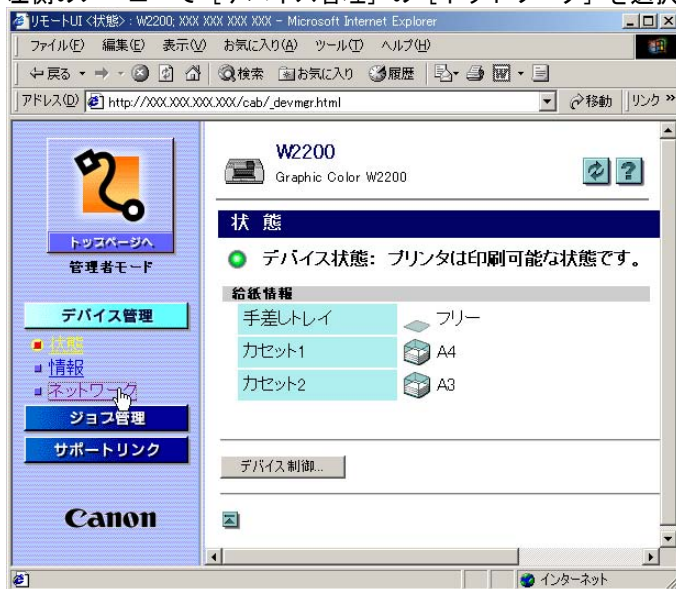
- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.04 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。ただし、Netscape Navigator 6 以降は対応しておりません。
- TurboLinux 4.0 をお使いの場合、Netscape Communicator 4.08 で本製品の設定をすることはできません。他のバージョンの Web ブラウザをお使いください。

メモ

- プリンタの名前でリモート UI を起動する場合は、DNS 環境および本ボードの DNS 設定が正しく行われていることを確認してください。

2 ［管理者モード］を選択して［OK］ボタンを押します。

メモ

- プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してから［OK］ボタンを押してください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

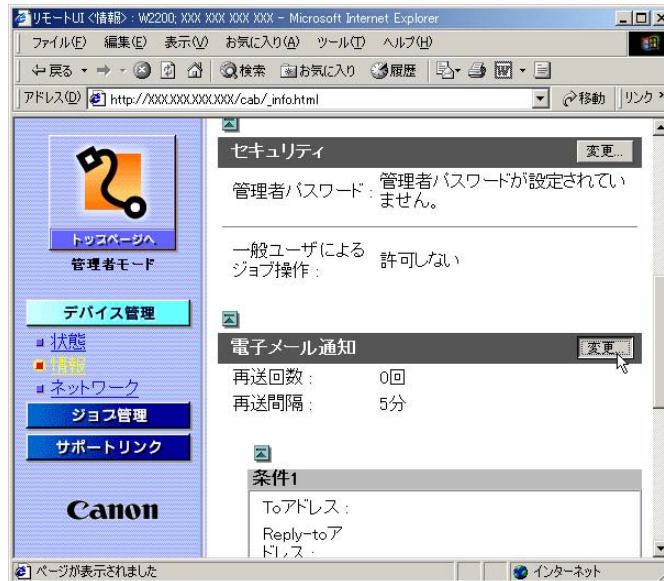
3 左側のメニューで［デバイス管理］の［ネットワーク］を選択します。

［ネットワーク］ページが表示されます。

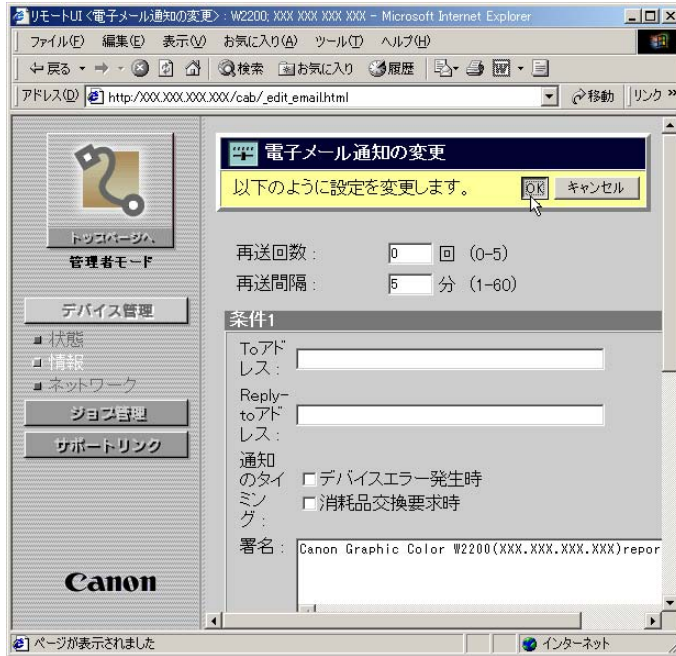
4 ［TCP/IP］の［SMTP サーバアドレス］にメールサーバのアドレスが正しく設定されていることと［DNS ドメイン名］にプリンタの所属するドメイン名が正しく設定されていることを確認します。

メールサーバのアドレスとプリンタのドメイン名が正しく設定されていない場合は、メールサーバのアドレスとプリンタのドメイン名を設定してください。（→「Web ブラウザ（リモート UI）による設定」P.2-10）

5 左側の［デバイス管理］メニューの［情報］を選択します。

［情報］ページが表示されます。

6 ［電子メール通知］の右にある［変更 ...］ボタンを押します。

［電子メール通知の変更］ページが表示されます。

7 ［再送回数］、［再送間隔］にプリンタ状況を通知するメールの送信に失敗したときに再送する回数と再送するまでの時間を設定します。

8 ［条件 1］の各項目を設定します。

To アドレス：

プリンタ状況を通知するメールを受信する人のメールアドレスを設定します。「,」で区切ることで複数のメールアドレスを指定できます。

Reply-to アドレス：

返信アドレスを設定します。

通知のタイミング：

メールによる通知を行う条件を設定します。

署名：

メールの本文の最後に表示される文章を設定します。

9 ［条件 1］と異なる宛先や異なる条件でプリンタ状況を通知するメールを受信したいときは、［条件 2］も設定します。

10 ［OK］ボタンを押します。

11 左側のメニューで［デバイス管理］の［ネットワーク］を選択して、［リセット］ボタンを押します。

ネットワークインタフェースボードが再起動すると、設定が有効になります。

これで電子メール通知機能の設定は完了しました。

3 AppleTalk ネットワークの設定（Macintosh）

AppleTalk ネットワークに接続してプリンタを使用するための設定方法や手順について記載しています。

AppleTalk ネットワークで必要な作業について

AppleTalk ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1	ネットワークケーブルを接続する	→セットアップガイド

「セットアップガイド」にしたがって、ネットワークケーブルの接続を行ってください。

2	Macintosh を設定する	→ P.3-3

・Macintosh のネットワークの設定を確認します。

3	プリンタのプロトコル設定	→ P.3-5

通常は、そのまま AppleTalk プロトコルで本プリンタを使用できます。プリンタ名やゾーンを設定する場合は、操作パネルでプリンタの IP アドレスの設定を行ってから、Web ブラウザでプロトコルの設定を行います。

4	プリンタドライバのインストール	→ P.3-10

Macintosh にプリンタドライバをインストールします。

お願い

- 上記 1、3 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

メモ

- ここでは、Macintosh コンピュータに標準装備の Ether ポート（[内蔵 Ethernet]）にプリンタを接続した場合を例に説明しています。増設したネットワークインタフェースボードにプリンタを接続している場合は、そのポート名を選択してください。

Macintosh を設定する

ネットワーク機能の設定

■Mac OS 8.6/9.x の場合

［セレクタ］と、［コントロールパネル］の［AppleTalk］を使って、Macintosh のネットワークの設定を確認します。

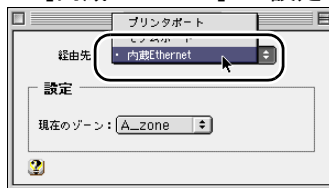
1 AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。

▼ Apple メニューから［セレクタ］を選択します。

▼［AppleTalk］が［使用］になっていることを確認します。［不使用］になっているときは［使用］を選択してください。

2 AppleTalk 接続方法が Ethernet になっていることを確認します。

▼［コントロールパネル］の［AppleTalk］を起動します。

▼［内蔵 Ethernet］に設定します。

▼［AppleTalk］を閉じて設定を保存します。

お願い

● Local Talk を経由して Ethernet に接続している環境では、［プリンタポート］を選択してください。

これで Macintosh のネットワークの設定は完了しました。

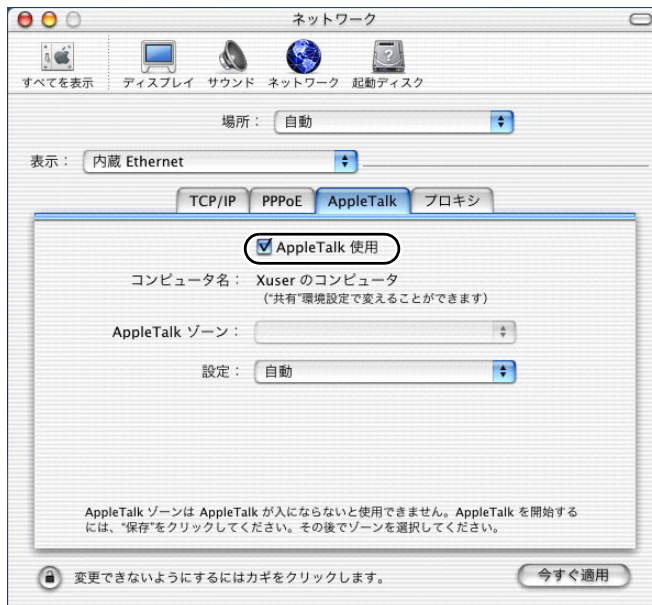
■Mac OS X の場合

［システム環境設定］の［ネットワーク］で AppleTalk の設定を確認します。

1 ［システム環境設定］の［ネットワーク］を開きます。

2 ［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

3 ［AppleTalk］シートを選択し、［AppleTalk 使用］がチェックされていることを確認します。

チェックマークが外れているときは、チェックマークを付けてください。

4 ［ネットワーク］を閉じて設定を保存します。

これで Macintosh のネットワークの設定は完了しました。

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、Web ブラウザ（リモート UI）を使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。設定を行う場合は、操作パネルで本プリンタの IP アドレスを設定してから、Web ブラウザでプロトコルの設定を行ってください。（→セットアップガイド）

1 **Web ブラウザを起動し、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力して［Enter］キーを押します。**

`http://` ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

入力例：`http://XXX.XXX.XXX.XXX/`

お願い

- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.04 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。ただし、Netscape Navigator 6 以降には対応しておりません。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加してください。（設定はネットワーク環境によって異なります）
- Web ブラウザで JavaScript とクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

メモ

- プリンタの名前でリモート UI を起動する場合は、DNS 環境および本ボードの DNS 設定が正しく行われていることを確認してください。

2 ［管理者モード］を選択して［OK］ボタンを押します。

リモート UI が起動します。

メモ

- プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してから［OK］ボタンを押してください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］メニューの［ネットワーク］を選択します。

［ネットワーク］ページが表示されます。

4 ［AppleTalk］の右側にある［変更 ...］ボタンを押します。

［AppleTalk プロトコル設定の変更］ページが表示されます。

5 ［フェーズタイプ］で［フェーズ 2］を選択します。

メモ

- ［無効］を選択すると、AppleTalk ネットワーク上で本プリンタが認識されなくなります。

6 ［名前］にネットワーク上のプリンタ名を入力します。

ここで入力した名称が、Mac OS 8/9 のセレクタ（Mac OS X の場合はプリントセンター）に表示されます。

お願い

- プリンタが同じゾーン内に複数あるときは、それぞれ固有の名前を付けてください。

メモ

- ［名前］の初期値は、ネットワークインタフェースボード名「CANON+ ＜ MAC アドレス下位 6 桁＞」になっています。
- ［名前］を変更するときは、半角 31 文字（全角 15 文字）以下にしてください。半角スペース、@、*、:、=、半角カタカナの「ナ」、その他文字コードを含む 2 バイト文字は使用することはできません。

7 **ネットワーク上にゾーンが設定されている場合は、プリンタが属するゾーン名を入力します。**

ゾーンが設定されていない場合は、「＊」（デフォルトゾーン）のままでお使いください。

お願い

- ゾーン名は、必ず設定されたゾーン名を入力してください。設定されていないゾーン名を入力すると、Macintosh コンピュータから認識されますが、ネットワークセグメント内のデフォルトゾーンとして認識されます。
  ゾーン名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8 **［OK］ボタンを押します。**

これで Macintosh のプリンタのプロトコル設定は完了しました。

プリンタドライバのインストール

プリンタのプロトコル設定が完了したら、印刷を行う各 Macintosh にプリンタドライバをインストールして、印刷先の設定を行います。

印刷には、プリンタに対応したプリンタドライバが必要になります。プリンタドライバをインストールしてください。（→セットアップガイド）

セットアップガイドにしたがって、プリンタドライバをインストールします。Mac OS 8/9 の場合セレクタでプリンタを選択したら設定は完了です。Mac OS X の場合はプリントセンターを開き、［プリンタの追加］で本プリンタを追加すると設定は完了です。

4 NetWare ネットワークの設定（Windows）

プリンタを NetWare ネットワークに接続して使用するための設定方法や手順について記載しています。

NetWare ネットワークで必要な作業について

NetWare ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1	ネットワークケーブルを接続する	→セットアップガイド

「セットアップガイド」にしたがって、ネットワークケーブルの接続を行ってください。

2	プリンタのフレームタイプを設定する	→ P.4-3

プリンタのフレームタイプの設定を行います。以下のソフトウェアを使用してプリンタとお使いのコンピュータが通信できるように設定を行います。
・GARO Device Setup Utility（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）

3	NetWare プリントサービスを設定する	→ P.4-6

NetWare プリントサービスの設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。
・NWADMIN または PCONSOLE（NetWare に付属の Novell 社製ソフトウェア）

4	プリンタの NetWare プロトコルを設定する	→ P.4-11

プリンタのプロトコル設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。
・Web ブラウザ（リモート UI）
・FTP クライアント

5	コンピュータを設定する	→ P.4-17

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

お願い

● 手順 1、2、3、4 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

プリンタのフレームタイプを設定する

プリンタのプロトコル設定をする前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるようにプリンタのフレームタイプを設定する必要があります。この作業は、以下のソフトウェアを使用して行います。

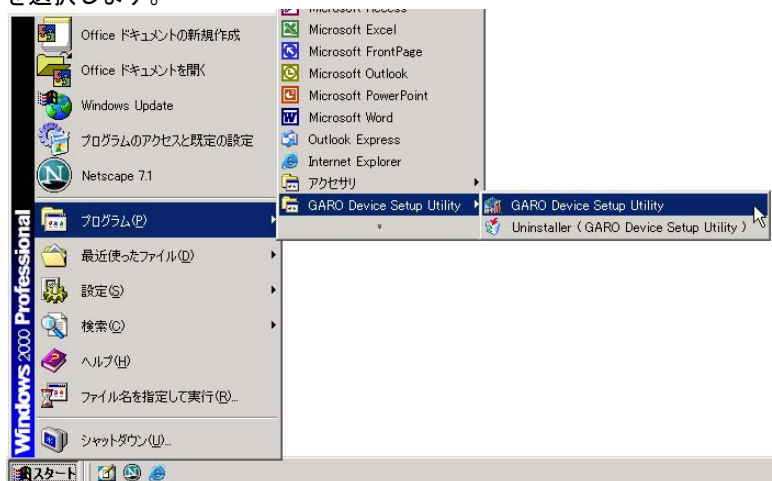
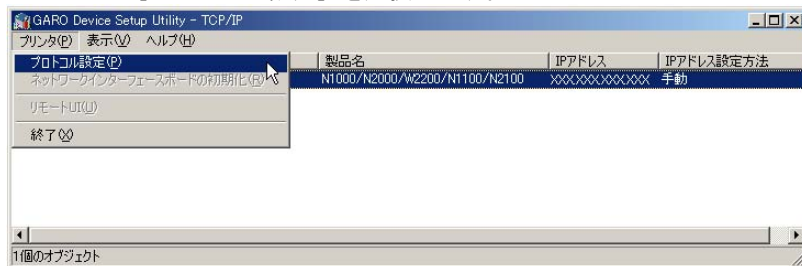
- GARO Device Setup Utility（→ P.4-4）

お願い

- GARO Device Setup Utility を使用する場合は、お使いのコンピュータに GARO Device Setup Utility がインストールされている必要があります。お使いのコンピュータに管理者用の GARO Device Setup Utility をインストールしてください。（→セットアップガイド）
- プリンタのフレームタイプの設定を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。
- GARO Device Setup Utility による設定作業では、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行って「ステータス　プリント」または、「カクチョウ I/F プリント」を行ってください。
  1. ［オンライン］キーを押して、オンラインランプを消灯します。
  2. ［ユーティリティ］キーを押します。
  3. ［＜］、［＞］キーで「ステータス　プリント」または、「カクチョウ I/F プリント」を選択し、［∨］キーを押します。

GARO Device Setup Utility による設定

Windows コンピュータをお使いの場合は、付属のユーティリティソフト「GARO Device Setup Utility」で本プリンタのネットワーク設定を行います。

1 ［スタート］メニューの［プログラム］から［GARO Device Setup Utility］を選択します。

2 一覧に表示されたプリンタ名から設定するプリンタを選択し、［プリンタ］メニューの［プロトコル設定］を選択します。

3 ［NetWare］の［フレームタイプ］でご使用のフレームタイプを選択します。また［TCP/IP フレームタイプ］で［ETHERNET II］を選択して［IP アドレス］に本プリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、［設定］ボタンを押します。

メモ

- プリンタのプロトコル設定を Web ブラウザ（リモート UI）で行えるようにするために、ここで IP アドレスを設定する必要があります。

4 確認画面が表示されたら、［OK］ボタンを押します。

5 設定が終わったら、[プリンタ] メニューの [終了] を選択して閉じます。

NetWare プリントサービスを設定する

NetWare ネットワークを使用して印刷するためには、プリントサーバやキューなどのプリントサービスの設定をする必要があります。プリントサービスの設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。

- NWADMIN または PCONSOLE（NetWare に付属の Novell 社製ソフトウェア）

お願い

- NWADMIN からプリントサービスの設定を行うときは、クライアントソフトとして Novell Client（Novell 社製の NetWare クライアント）がインストールされている必要があります。
- ここで説明する操作の手順は、NetWare プリントサービスの設定手順例です。お使いの環境によっては、設定手順が異なることがあります。

プリントサービスの種類

プリントサービスの設定をする前に、以下の説明を参考にして使用するプリントサービスの種類を選択してください。

メモ

- NetWare 5.xJ では､プリントサービスとして NDPS を使用することもできます。NDPS を使用するときは、ゲートウェイとして NetWare に付属の Novell プリンタゲートウェイを使用してください。本書では NDPS の設定方法は説明していませんので、NetWare の説明書を参照してください。

- NDS（ノベルディレクトリサービス）とバインダリ

  NDS とバインダリのどちらにも対応しています。お使いのネットワーク環境に応じてどちらのモードを使用するか選択してください。

- キューサーバモードとリモートプリンタモード

  キューサーバモードとリモートプリンタモードのどちらにも対応しています。

- キューサーバモード

  キューサーバモードで使用する場合、プリントサーバの機能をすべて備えているため、他にプリントサーバ用のハードウェアやソフトウェアを必要としません。NDS のキューサーバモード（NDS PServer）では、NDS のプリントサーバを使用して印刷します。バインダリのキューサーバモード（Bindery PServer）ではバ

インダリのプリントサーバを使用して印刷します。
また、キューサーバモードでは、使用するネットワークインタフェースボード 1 つにつき 1 つの NetWare ユーザライセンスが必要です。

- リモートプリンタモード

  リモートプリンタモードで使用する場合、NetWare プリントサーバによって制御されます。そのため、NetWare プリントサーバが必要になります。NDS のリモートプリンタモード（NPrinter）では NDS のプリントサーバを使用して、バインダリのリモートプリンタモード（RPrinter）ではバインダリのプリントサーバを使用して印刷します。

NWADMIN、PCONSOLE によるプリントサーバの設定

■NDS のキューサーバモード／リモートプリンタモードで使用する場合

1 NetWare に Admin または同等の権利を持つユーザとしてログインし、NWADMIN を起動します。

2 クイックセットアップを実行します。

▼［ツール］メニューの［プリントサービスクイックセットアップ］を選択します。

▼［プリントサーバ名］に任意の名前の入力します。既存のものを使用するときは右横のボタンを押して一覧から選択します。

▼ プリンタの［名前］に任意の名前を入力します。

▼ キューサーバモードで使用するときは、［タイプ］で［その他／不明］を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、［タイプ］で［パラレル］を選択し、［通信 ...］ボタンを押して、［ポート］を［LPT1］に［接続タイプ］を［手動ロード］に設定します。

▼ プリントキューの［名前］に任意の名前を入力します。

▼［ボリューム］にキューを作成するボリュームオブジェクト（ネットワーク上の物理ボリュームをあらわすオブジェクト）を入力します。右横のボタンを押すと一覧から選択できます。

▼ 他の項目を設定し［OK］ボタンを押します。

お願い

- キューサーバモードで使用する場合、プリントサーバにパスワードを設定しないでください。

メモ

- プリントサーバ名は、プリンタのプロトコル設定で必要になりますので、控えておいてください。
- クイックセットアップを行うと、プリンタ番号［0］にプリンタが割り当てられます。キューサーバモードで使用する場合は、プリンタ番号を［0］から変更しないでください。

3 リモートプリンタモードで使用するときは、次の手順でプリントサーバを起動します。

▼ NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで［LOAD PSERVER.NLM］を入力し［Enter］キーを押します。

メモ

● キューサーバモードで使用する場合はこの作業は必要ありません。

これで NetWare プリントサービスの設定は完了しました。続いてプリンタのプロトコル設定を行ってください。（→「プリンタの NetWare プロトコルを設定する」P.4-11）

■バインダリのキューサーバモード／リモートプリンタモードで使用する場合

1 NetWare に Supervisor としてログインし、PCONSOLE を起動します。

2 プリントサーバを作成していないときは、次の手順でプリントサーバを作成します。

▼［利用可能な項目］から［プリントサーバ情報］を選択して［Enter］キーを押します。

▼ 作成するプリントサーバの名前と新しいプリンタおよびキューの名前を入力します。

お願い

● キューサーバモードで使用する場合、プリントサーバにパスワードを設定しないでください。

メモ

● プリントサーバ名は、プリンタのプロトコル設定で必要になりますので、控えておいてください。

3 プリンタのタイプを設定します。

- ▼ キューサーバモードで使用するときは、［タイプ］で［その他／不明］を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、［プリンタタイプ］で［パラレル］を選択して、［位置］を［手動ロード］に設定します。
- ▼［ESC］キーを押します。
- ▼ 確認ボックスが表示されますので、［Yes］を選択して［Enter］キーを押します。

4［ESC］を数回押すと PCONSOLE の終了確認が表示されますので、［Yes］を選択して PCONSOLE を終了します。

これで NetWare プリントサービスの設定は完了しました。続いてプリンタのプロトコル設定を行ってください。（→「プリンタの NetWare プロトコルを設定する」P.4-11）

プリンタのNetWareプロトコルを設定する

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。

・Webブラウザ（リモートUI）（→P.4-11）

・FTPクライアント（第2章 「FTPクライアントによる設定」（P.2-16）を参照してください。）

お願い

● ここでは、Webブラウザを使用して設定する方法について説明しています。

1 **Webブラウザを起動し、［場所］または［アドレス］に以下のURLを入力して［Enter］キーを押します。**

`http://`＜プリンタのIPアドレスまたは名前＞/

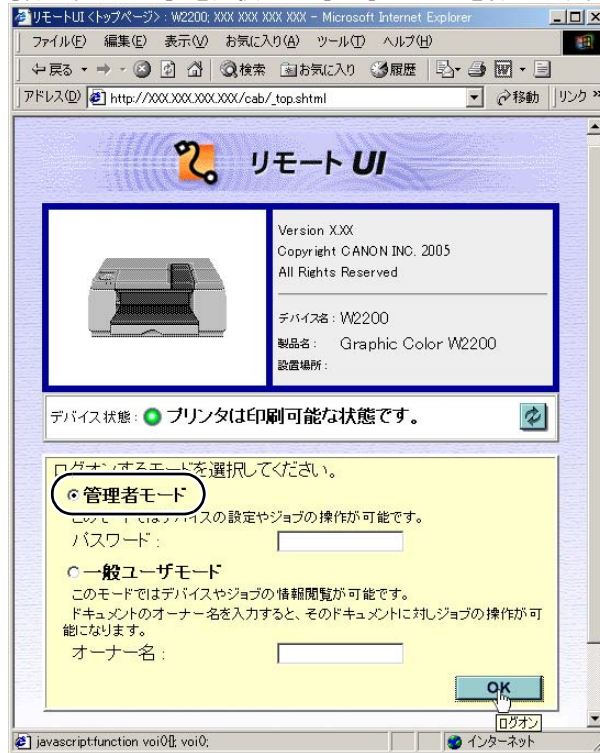
入力例：`http://XXX.XXX.XXX.XXX/`

お願い

● Webブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.04以降またはInternet Explorer 4.01SP1以降をお使いください。ただし、Netscape Navigator 6以降には対応しておりません。
● プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、Webブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタのIPアドレスを追加してください。（設定はネットワーク環境によって異なります）
● WebブラウザでJavaScriptとクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
● 同時に複数のリモートUIを起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモートUIは1つだけ起動することをおすすめします。

メモ

● プリンタの名前でリモートUIを起動する場合は、DNS環境および本ボードのDNS設定が正しく行われていることを確認してください。
● リモートUIを起動し、RPrinter/NPrinterで印刷履歴を表示した場合、「ドキュメント名」と「ユーザ」の情報は取得できません。そのため、「ドキュメント名」は“不明”、「ユーザ」は“RPRINTER/NPRINTER”としか表示されません。

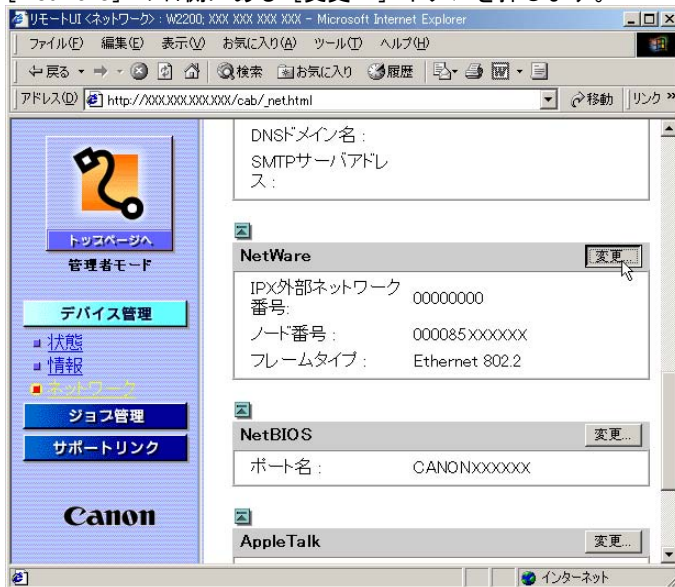
2 ［管理者モード］を選択して［OK］ボタンを押します。

リモート UI が起動します。

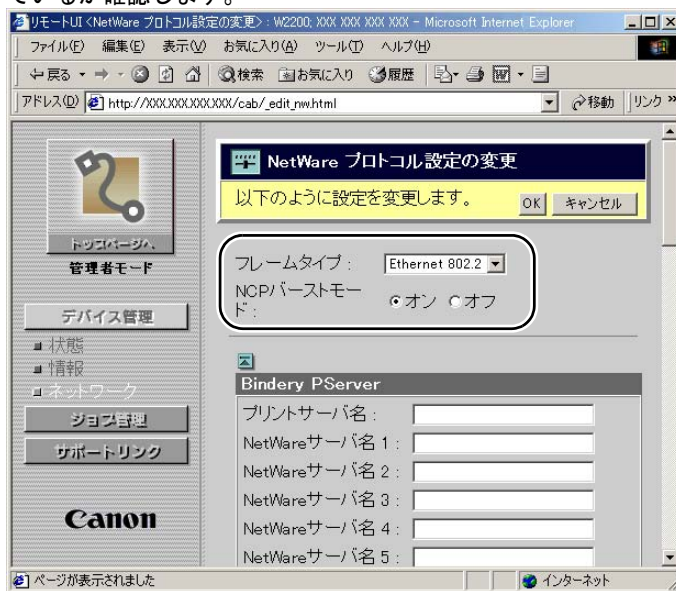
メモ

- プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してから［OK］ボタンを押してください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］メニューの［ネットワーク］を選択します。

［ネットワーク］ページが表示されます。

4 ［NetWare］の右側にある［変更 ...］ボタンを押します。

［NetWare プロトコル設定の変更］ページが表示されます。

5 ［フレームタイプ］が NetWare ネットワークでお使いのフレームタイプになっているか確認します。

6 バーストモードを使用する場合は、［NCP バーストモード］で［オン］を選択します。

メモ

- バーストモードは、キューサーバモードで印刷する場合に高速にデータを転送するモードです。
- 通常は、オンのまま使用してください。

7 使用するサービスに応じて、次の設定を行います。

- Bindery PServer を設定する場合：キューサーバモード（バインダリのプリントサーバを使用）

  ▼［プリントサーバ名］に「NetWare プリントサービスを設定する」（→ P.4-6）で作成したプリントサーバ名を入力します。

  ▼［NetWare サーバ名 x］にファイルサーバ名を入力します。

  ▼［ポーリング間隔］を設定します。プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定してください。

- NDS Pserver：キューサーバモード（NDS のプリントサーバを使用）
  - ▼［プリントサーバ名］に「NetWare プリントサービスを設定する」（→ P.4-6）で作成したプリントサーバ名を入力します。
  - ▼［NDS ツリー名］、［コンテキスト名］にプリントサーバがある NDS ツリー名、コンテキスト名を入力してください。
  - ▼［ポーリング間隔］を設定します。プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定してください。
- R Printer：リモートプリンタモード（バインダリのプリントサーバを使用）
  - ▼［プリントサーバ名 x］に「NetWare プリントサービスを設定する」（→ P.4-6）で作成したプリントサーバ名を入力します。
  - ▼［プリンタ番号 x］に「NetWare プリントサービスを設定する」（→ P.4-6）で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。
- N Printer：リモートプリンタモード（NDS のプリントサーバを使用）
  - ▼［プリントサーバ名 x］に「NetWare プリントサービスを設定する」（→ P.4-6）で作成したプリントサーバ名を入力します。
  - ▼［プリンタ番号 x］に「NetWare プリントサービスを設定する」（→ P.4-6）で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

メモ

- [BINDERY PSERVER] を選択したときは、16 までファイルサーバを指定することができますが、各ファイルサーバ上に同じ名称のプリントサーバを作成しておく必要があります。
- [RPRINTER]、[NPRINTER] を選択したときは、4 つまでプリントサーバを指定することができます。

8 ［OK］ボタンを押します。

9 ［デバイス管理］の［ネットワーク］に戻ったら、［リセット］ボタンを押します。

本プリンタのネットワークインタフェースが再起動し、設定が有効になります。

これでNetWareのプロトコル設定は完了しました。

コンピュータを設定する

NetWare プリントサービスとプリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

NetWare ネットワークの接続

印刷を行うすべてのコンピュータに NetWare クライアントソフトをインストールし、NetWare サーバまたはツリーにログインします。接続方法は、NetWare の説明書や OS の説明書を参照してください。

プリンタドライバのインストール

印刷を行うためにはプリンタドライバが必要になります。ネットワーク管理者の指示に従って、プリンタドライバをインストールしてください。

インストールのときは、プリンタの接続先として［ネットワークプリンタ］を選択して NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューを選択してください。

プリンタのポート設定

［スタート］メニューから［設定］の［プリンタ］を選択し、プリンタのアイコンを選択して［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。［詳細］シートまたは［ポート］シートを選択して印刷先のポートを NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューに設定してください。（→ P.4-6）

メモ

- プリンタドライバのインストール中にプリンタの接続先を設定した場合は、この作業は必要ありません。

5 NetBIOS/NetBEUI ネットワークの設定（Windows Me/ Windows 98）

NetBIOS /NetBEUI ネットワークに接続してプリンタを使用するための設定方法や手段について記載しています。

NetBIOS/NetBEUI ネットワークで必要な作業について

NetBIOS/NetBEUI ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1	ケーブルを接続する	→セットアップガイド

ネットワークケーブルの接続を行ってください。

2	Windows を設定する	→ P.5-3

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

お願い

- 本製品は、NetBIOS over TCP/IP（NetBT）には対応していません。お使いの環境で TCP/IP を使用している場合は、TCP/IP プロトコルを使用して印刷してください。（→第 2 章 「TCP/IP ネットワークの設定（Windows）」）

Windows を設定する

以下の手順で、各コンピュータの設定を行います。

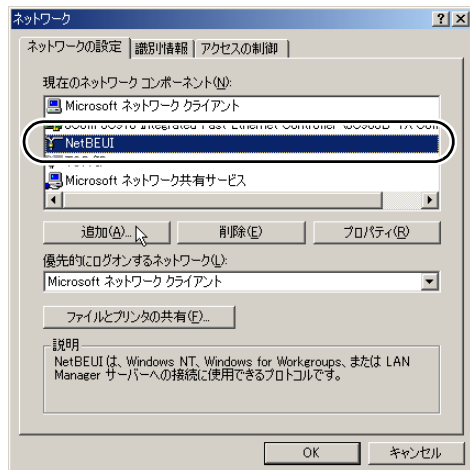
NetBIOS/NetBEUI ネットワークの接続方法

印刷を行う各コンピュータに NetBEUI クライアントソフトをインストールする必要があります。NetBEUI クライアントソフトがインストールされているかどうかは、次の手順で確認できます。

1 [スタート] メニューから [設定] の [コントロールパネル] を選択します。

2 [ネットワーク] アイコンを開きます。

3 [現在のネットワークコンポーネント] 一覧に [NetBEUI] があることを確認します。

[NetBEUI] がインストールされていないときは [追加 ...] ボタンを押してインストールしてください。

プリンタドライバのインストール

印刷にはプリンタドライバが必要になります。プリンタドライバをインストールしてください（→セットアップガイド）。

[プリンタの追加] でインストールするときは、プリンタの接続先を選択する画面で［ローカルプリンタ］を選択します。ネットワークプリンタを選択しないでください。

また、プリンタで使用するポートはインストール後に変更します。ここでは［LPT1］など任意のポートを選択してください。

プリンタドライバのポート設定

以下の手順でプリンタの接続先の設定を行ってください。

1 プリンタに付属の User Software CD-ROM に入っている NetBIOS/NetBEUI Port Monitor をインストールします。

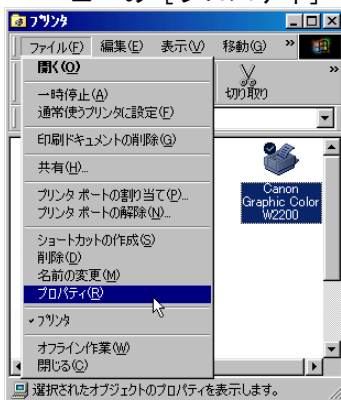
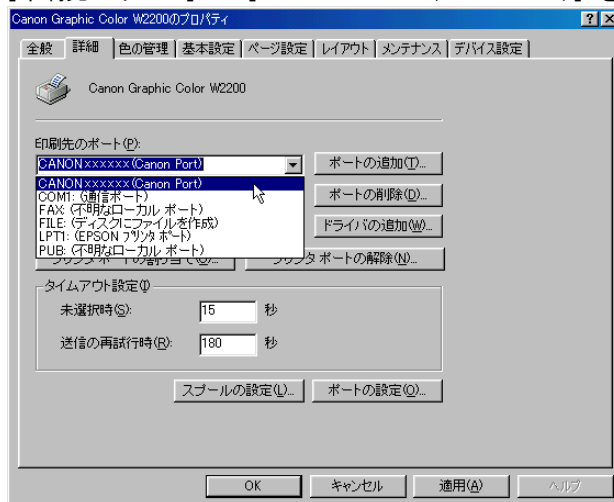
- ▼ プリンタに付属の User Software CD-ROM をドライブにセットします。
- ▼［マイ コンピュータ］の［CD-ROM ドライブ］アイコン選択し、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。
- ▼［Portmon］フォルダを開きます。
- ▼［Setup］（または［Setup.exe］）アイコンを開きます。
- ▼ インストールプログラムが起動しますので、画面の指示にしたがってインストールを行います。

メモ

- お使いの環境によっては、User Software CD-ROM をドライブにセットしたときに「Setup Menu」ウィンドウが表示されます。このときは、［終了］ボタンを押してから上記手順を行ってください。

2 プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。

▼［スタート］メニューから［設定］の［プリンタ］を選択します。

▼ 印刷に使用するプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択します。

3 ［印刷先のポート］で［CANONxxxxxx（Canon Port)］を選択します。

メモ

- xxxxxx は、本ネットワークインタフェースボードの MAC アドレスの下 6 桁です。MAC アドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで「ステータス プリント」または「カクチョウ I/F プリント」を行ってください。(→セットアップガイド)
- ［印刷先のポート］に［CANONxxxxxx(Canon Port)］が表示されないときは、第 6 章 「印刷できないときは」(→ P.6-3）を参照してください。

4 ［OK］ボタンを押し、設定を有効にします。

これで印刷を行うコンピュータの設定が完了しました。

6 困ったときは

操作中に起きたトラブルの解決方法について記載しています。

GARO Device Setup Utility が使えないときは

GARO Device Setup Utility に関する原因とその対処方法について記載します。

GARO Device Setup Utility でプリンタを認識できない

原因 1:　プリンタの電源がオフになっている。

処置 :　プリンタの電源コードやコンセントを確認し、本プリンタの［電源］キーを押してください。

原因 2:　本プリンタの LAN ポートとケーブルが正しく接続されていない。

処置 :　プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認し、プリンタの電源を入れ直してください。（→セットアップガイド）

原因 3:　コンピュータとプリンタが同一サブネット上に接続されていない。

処置 :　コンピュータとプリンタを同じ HUB に接続するなどして物理的に同一サブネット上に接続された状態にしてください。

印刷できないときは

印刷に関する原因とその対処方法について記載します。

TCP/IP ネットワークから印刷できない

原因 1: 本プリンタの LAN ポートとケーブルが正しく接続されていない。

処置 : プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認し、プリンタの電源を入れ直してください。(→セットアップガイド)

原因 2: TCP/IP ネットワークが正しく設定されていない。

処置 : フレームタイプや IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、BOOTP、RARP が動作していることを確認してください。

原因 3: 印刷を行うコンピュータの設定が正しく設定されていない。

処置 : 次のことを確認してください。

- 正しいプリンタドライバがインストールされているか確認します。Windows から印刷を行うには、各コンピュータにプリンタドライバと LPR ポートがインストールされている必要があります。(→セットアップガイド)
- 印刷を行うコンピュータの出力先が正しいポートに設定されているか確認します。出力先は、[コントロールパネル] の [プリンタ] で確認できます。
- スプールの設定が、印刷処理を高速に行う設定になっているか確認します。スプールの設定は、[コントロールパネル] の [プリンタ] の [プロパティ] で確認できます。

原因 4: 印刷するファイル名が長すぎる。

処置 : 通常、LPR(Windows NT の場合は「Microsoft TCP/IP 印刷」)は、印刷に使用するアプリケーションソフト名やファイル名を元にしたジョブ名を送信します。しかし、ジョブ名が 255 バイト以上になると正常に送信できなくなります。このときは、印刷するファイル名を短くしてください。

AppleTalk ネットワークから印刷できない

原因 1: 本プリンタの LAN ポートとケーブルが正しく接続されていない。

処置 : プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認し、プリンタの電源を入れなおしてください。(→セットアップガイド)

原因 2: AppleTalk ネットワークが正しく設定されていない。

処置 : リモート UI で［AppleTalk］の各項目が正しく設定されていることを確認します。特に、次の点を確認してください。

- ［フェーズタイプ］で有効なフェーズタイプが設定されている。
- ［ゾーン］でプリンタの存在するゾーンが設定されている。(32 バイトのゾーンでは印刷できません。)

原因 3: 印刷を行うコンピュータの設定が正しく設定されていない。

処置 : Mac OS 8.6/9.x の場合は、次のことを確認してください。

- ［セレクタ］で正しいプリンタドライバがインストールされているか確認します。
- ［セレクタ］で印刷先が正しいプリンタに設定されているか確認します。
- ［セレクタ］で AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。
- ［コントロールパネル］の［AppleTalk］で AppleTalk の接続方法が［内蔵 Ethernet］になっていることを確認します。ただし、Macintosh に追加したネットワークインタフェースボードにプリンタを接続している場合は、接続しているポート名を選択してください。

処置 : Mac OS X の場合は、次のことを確認してください。

- ［システム環境設定］の［ネットワーク］で［内蔵 Ethernet］の［AppleTalk］が有効になっていることを確認します。
- 本プリンタ用プリンタドライバが正しくインストールされていることを確認します。
- ［プリントセンター］で本プリンタがデフォルトプリンタになっていることを確認します。

NetWare ネットワークから印刷できない

原因 1:　本プリンタの LAN ポートとケーブルが正しく接続されていない。

処置 :　プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認し、プリンタの電源を入れなおしてください。（→セットアップガイド）

原因 2:　NetWare ネットワークが正しく設定されていない。

処置 :　次のことを確認してください。

- NetWare ファイルサーバが起動していることを確認します。
- NetWare ファイルサーバ上に十分なディスクスペースがあることを確認します。十分なディスクスペースがない場合は、サイズの大きいジョブの印刷ができないことがあります。
- NWADMIN、PCONSOLE のいずれかを起動し、プリントサービスが正しく設定されていることとプリントキューが使用可能になっていることを確認します。（→「NetWare プリントサービスを設定する」P.4-6）
- プリンタのネットワーク設定が正しく設定されていることを確認します。（→「プリンタのフレームタイプを設定する」P.4-3,「プリンタの NetWare プロトコルを設定する」P.4-11）特に、次の点について確認してください。
    - ［フレームタイプ］で有効なフレームタイプが選択されている。

原因 3:　印刷を行うコンピュータの設定が正しく設定されていない。

処置 :　次のことを確認してください。

- 正しいプリンタドライバがインストールされているか確認します。印刷を行うには、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります（→セットアップガイド）。
- 印刷を行うコンピュータの出力先が正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、［コントロールパネル］の［プリンタ］で確認できます。

原因 4:　NetWare サーバから他のサブネットにあるプリンタにデータを送信できない。

処置 :　NetWare サーバからプリンタにデータを送信するときは、NCP バーストモードでデータを送信しますが、お使いのネットワーク環境によっては他のサブネットにあるプリンタへのデータの送信に失敗することがあります。このときは、プリンタのプロトコル設定で NCP バーストモードをオフにしてお使いください。

原因 5:　キューサーバーモードで使用している場合、プリンタタイプが「パラレル」になっている。

処置 :　プリンタタイプを「その他 / 不明」に設定してください。

NetBIOS/NetBEUI ネットワークから印刷できない、または［印刷先のポート］に印刷するプリンタのポート名が表示されない

原因 1:　ネットワークインタフェースボードとケーブルが正しく接続されていない。

処置 :　次のことを確認し、プリンタの電源を入れなおしてください。

- プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。(→セットアップガイド)

原因 2:　印刷するコンピュータとプリンタが異なるサブネットにある。

処置 :　本製品は、NetBEUI プロトコルを使用して印刷を行うため、印刷するコンピュータとプリンタの間にルータがあるネットワーク環境では印刷できません。他のプロトコルを使用して印刷するか、ルータを経由しないプリンタに印刷してください。

原因 3:　印刷を行うコンピュータの設定が正しく設定されていない。

処置 :　次のことを確認してください。

- 各コンピュータに正しいプリンタドライバがインストールされているか確認します。(→セットアップガイド)
- 印刷を行うコンピュータの出力先が正しいポートに設定されているか確認します。出力先は、［コントロールパネル］の［プリンタ］で確認できます。
- スプールの設定が、印刷処理を高速に行う設定になっているか確認します。スプールの設定は、［コントロールパネル］の［プリンタ］の［プロパティ］で確認できます。

7 付録

その他の知っておいて頂きたい情報や参考となる情報について記載します。

ネットワーク設定を初期化するには

ネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すときは、プリンタの操作パネルから以下の手順を行ってください。

メモ

- ネットワーク設定の初期化は、プリンタの操作パネルから行う方法の他に、以下のソフトウェアを使用して行うこともできます。
  - Web ブラウザ（リモート UI）:
    リモート UI のヘルプを参照してください。
  - FTP クライアント：
    「FTP クライアントによる管理」（→ P.2-35）を参照してください。

1 **プリンタの操作パネルの［オンライン］キーを押して、オンラインランプを消灯します。**

2 **［セットアップ］キーを押します。**

3 **以下の項目を［<］、［>］キーで選択し、［V］キーを押します。**

「インタフェース　セッテイ」→「カクチョウ　ネットワーク」→「セッテイ　ショキカ」

4 **操作パネルに「ジッコウシマスカ？」と表示されますので、［V］キーを押します。**

ネットワーク設定項目一覧

Web ブラウザ（リモート UI）、FTP クライアントを使用すると本ネットワークインタフェースの設定を変更することができます。変更できる設定項目は以下のものになります。

メモ

- 以下の一覧で、カッコ内に記載されている情報は、FTP クライアント固有のものです（例 :「デバイス名（DEVICE_NAME）」は、Web ブラウザでは［デバイス名］と表示され、FTP クライアントの config ファイルでは［DEVICE_NAME］と表示されます）。

■一般設定

項目名	内容	初期値
デバイス名 （DEVICE_NAME）	デバイスの名称（0 〜 32 文字）	（空欄）
設置場所 （SYS_LOC）	デバイスの設置場所（0 〜 32 文字）	（空欄）
管理者名 （SYS_CONTACT）	デバイス管理者の名前（0 〜 32 文字）	（空欄）
管理者連絡先 （SYS_TEL_NUMBER）	デバイス管理者の連絡先（0 〜 32 文字）	（空欄）
管理者コメント （SYS_COMMENT）	デバイス管理者のコメント（0 〜 32 文字）	（空欄）
パスワード （ROOT_PWD）	デバイスのパスワード（0 〜 15 文字）	（空欄）
一般ユーザによるジョブ操作を許可する （USER_JOB_CONT）	一般ユーザモードでのプリンタジョブ操作を許可するかどうか	（オフ）
再送回数 （EMAIL_RETRY）	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの最大再送回数	0
再送間隔 （EMAIL_DELAY）	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの再送までの時間	5
To アドレス （EMAIL_ADDR）	電子メール通知機能でメールを送信する宛先（0 〜 128 文字） 2 つまで設定可能	（空欄）
Reply-to アドレス （EMAIL_REPLY）	電子メール通知機能で送信するメールの返信アドレス（0 〜 128 文字） 2 つまで設定可能	（空欄）

項目名	内容	初期値
通知のタイミング（EMAIL_NOTIFY）	電子メール通知機能でメールを送信する条件 2 つまで設定可能	（すべてオフ）
署名（EMAIL_SIG）	電子メール通知機能で送信するメールの署名（0 〜 256 文字。改行は 2 文字として扱われます。） 2 つまで設定可能	（空欄）
サポートのリンク先（LINK_NAME）	リモート UI のサポートリンクページに表示されるリンク先（0 〜 32 文字） 2 つまで設定可能	（空欄）
サポートの URL（LINK_URL）	リモート UI のサポートリンクページに表示される URL（0 〜 128 文字） 2 つまで設定可能	（空欄）
サポートのコメント（LINK_COMMENT）	リモート UI のサポートリンクページに表示されるコメント（0 〜 64 文字） 2 つまで設定可能	（空欄）
ダウンロードサイトのリンク先（DOWNLOAD_SITE_NAME）	リモート UI のダウンロードサイトページに表示されるリンク先（0 〜 32 文字）	ダウンロードサービス
ダウンロードサイトの URL（DOWNLOAD_SITE_URL）	リモート UI のダウンロードサイトページに表示される URL（0 〜 128 文字）	http://www.canon-sales.co.jp/drv-upd/nic/index-j.html
ダウンロードサイトのコメント（DOWNLOAD_SITE_COMMENT）	リモート UI のダウンロードサイトページに表示されるコメント（0 〜 64 文字）	ネットワークファームウェアアップデート

■TCP/IP 設定

項目名	内容	初期値
フレームタイプ（TCP_FRAME_TYPE）	TCP/IP で使用しているフレームタイプ	Ethernet II
DHCP によるアドレス設定（DHCP_ENB）	IP アドレスの設定に DHCP を使用するかどうか	（オフ）
BOOTP によるアドレス設定（BOOTP_ENB）	IP アドレスの設定に BOOTP を使用するかどうか	（オフ）
RARP によるアドレス設定（RARP_ENB）	IP アドレスの設定に RARP を使用するかどうか	（オフ）
IP アドレス（INT_ADDR）	プリンタの IP アドレス	192.168.0.215
サブネットマスク（NET_MASK）	サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス（DEF_ROUT）	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
IPP の URI（IPP_PRT_URI）	IPP で印刷するときの URI（1 ～ 255 文字）	printer
Raw の双方向通信機能（RAW_BIDIR_ENB）	Raw で印刷するときに双方向通信をサポートするかどうか	（オフ）
DNS サーバアドレス（DNS_ADDR）	DNS サーバの IP アドレス	0.0.0.0
DNS の動的更新（DDNS_ENB）	本デバイスを DNS に動的に登録するかどうか	オフ
DNS ホスト名（HOST_NAME）	本デバイスのホスト名（0 ～ 63 文字）	（空欄）
DNS ドメイン名（DOMAIN_NAME）	本デバイスの所属するドメイン名（0 ～ 64 文字）	（空欄）
SMTP サーバアドレス（SMTP_ADDR）	メールサーバの IP アドレスまたは名前（名前のときは、0 ～ 64 文字）	（空欄）

■NetWare 設定

項目名	内容	初期値
フレームタイプ（NW_FRAME_TYPE）	NetWare で使用しているフレームタイプ	Ethernet 802.2
NCP バーストモード（NCP_BURST_MODE）	NCP バーストモードを使用するかどうか（通常はオンにしてください）	（オン）

項目名	内容	初期値
Bindery PServer		
プリントサーバ名（PSERVER_BINDERY_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名（0 ～ 47 文字）	（空欄）
NetWare サーバ名（PSERVER_BINDERY）	NetWare プリントサーバがある NetWare ファイルサーバ名（0 ～ 47 文字）	（空欄）
ポーリング間隔（BINDERY_JOB_CHECK_DELAY）	ジョブを確認する間隔（1 ～ 15 秒）	5
NDS PServer		
プリントサーバ名（PSERVER_NDS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名（0 ～ 64 文字）	（空欄）
NDS ツリー名（PSERVER_NDS_TREE）	NetWare プリントサーバがある NDS ツリー名（0 ～ 32 文字）	（空欄）
コンテキスト名（PSERVER_NDS_CONTEXT）	NetWare プリントサーバがあるコンテキスト名（0 ～ 255 文字）	（空欄）
ポーリング間隔（NDS_JOB_CHECK_DELAY）	ジョブを確認する間隔（1 ～ 255 秒）	5
RPrinter		
プリントサーバ名（RPRINTER_PS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名（0 ～ 47 文字）	（空欄）
プリンタ番号（RPRINTER_NO）	NetWare プリントサーバに接続しているプリンタの番号（0 ～ 15）	0
NPrinter		
プリントサーバ名（NPRINTER_PS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名（0 ～ 64 文字）	（空欄）
プリンタ番号（NPRINTER_NO）	NetWare プリントサーバに接続しているプリンタの番号（0 ～ 254）	0

■NetBIOS 設定

項目名	内容	初期値
ベースプロトコル（LSLM_ENB）	通信に使用しているプロトコル（NetBIOS を使用するかどうか）	NetBEUI（オン）

■AppleTalk 設定

項目名	内容	初期値
フェーズタイプ	使用しているフェーズタイプ（AppleTalk を使用するかどうか）	フェーズ 2
名前	セレクタや Print Center のプリンタリスト上に表示される名前（1 ～ 31 文字）	Canonxxxxxx（MAC アドレスの下位 6 桁）
ゾーン	プリンタのゾーン名（1 ～ 31 文字）	＊

ネットワーク設定に利用できるソフトウェア

ネットワーク設定は、以下のソフトウェアを使用して行うことができます。

設定の種類	GARO Device Setup Utility	Web ブラウザ（リモート UI）	FTP クライアント	ARP/PING コマンド	プリンタの操作パネル
NetWare プリントサービスの設定（→ P.4-6）	×	×	×	×	×
NetWare プロトコルの設定（→ P.4-11）	△*	○	○	×	×
IP アドレスの設定（→ P.2-3）	○	○	○	○	○
TCP/IP プロトコルの設定（→ P.2-10）	△*	○	○	×	×
Apple Talk プロトコルの設定（→ P.3-5）	△*	○	○	×	×
NetBIOS プロトコルの設定	×	○	○	×	×
電子メール通知機能の設定（→ P.2-38）	×	○	○	×	×

* IP アドレス、フレームタイプ、フェーズのみ設定可能。

索引

英数字

か行

さ行

た行

な行

は行

ら行